

長崎県病院企業団  
第3次中期経営計画  
(令和3年度～令和6年度)



令和3年3月  
長崎県病院企業団

# 目 次

I	長崎県病院企業団の基本理念	1
II	長崎県病院企業団の基本方針と果たすべき役割	1
1	基本方針	1
2	果たすべき役割	1
3	重点課題	2
III	長崎県病院企業団の現状と課題	3
1	長崎県病院企業団の概要	3
2	地域医療と企業団病院を取り巻く環境	4
3	これまでの取り組みの検証	6
4	各地域の課題	10
5	構成団体負担の考え方	14
IV	第3次中期経営計画の基本的な考え方	15
1	策定趣旨	15
2	計画の位置づけ	15
3	計画期間	15
V	第3次中期経営計画の取組方針	15
VI	長崎県病院企業団全体の取り組み	16
VII	各地域及び病院における取り組み	19
1	精神医療センターの取組方針	19
2	島原病院の取組方針	23
3	五島地域の取組方針	27
4	上五島地域の取組方針	35
5	対馬地域の取組方針	40
6	壱岐病院の取組方針	46
VIII	進行管理（点検・評価・公表）	50
IX	全体、各地域及び病院ごとの収支計画	51
【参考】		
資料1	長崎県病院企業団病院の概要	81

## I 長崎県病院企業団の基本理念

医療の地域偏在が顕著な長崎県の離島・周辺部における継続性のある良質な医療の提供と医療レベルの向上を図り、県民の健康な生活に貢献する。

## II 長崎県病院企業団の基本方針と果たすべき役割

### 1 基本方針

- 長崎県全域の精神科医療の中核を担う精神医療センターをはじめ、県南、五島、上五島、対馬及び壱岐医療圏の中核を担う公立病院として、「長崎県医療計画」に基づいた政策医療の安定的な確保を図ります。
- 「長崎県地域医療構想」との整合性を図り、基幹病院を中心に将来を見据えた地域に必要なとされる医療提供体制を構築します。
- 高度・良質な医療を継続的に提供するため、安定的な黒字化を目指し、健全経営に努めます。

### 2 果たすべき役割

- 地方公共団体が経営する地方公営企業である病院事業として、経済性の発揮と公共の福祉の増進という公共性の両立に努めます。
- 公立病院として、地域に不足している医療に積極的に取り組むとともに、地域の医療機関や行政機関等との連携を図りながら、公平・公正な医療を提供します。

### **3 重点課題**

○当病院企業団は、厳しい医療環境下で様々な課題を有していますが、重点課題として次のとおり定め、課題解決に向けた取り組みを積極的に推進します。

○また、職員の一体感の醸成にも努めます。

- 医師等医療従事者の確保
- 医療の質の維持・向上
- 病病・病診連携、医療・介護連携の推進
- 病床機能の見直し
- 地域に信頼される病院づくり
- 経常収支の安定的黒字化
- 職員の意識改革・人材育成

### Ⅲ 長崎県病院企業団の現状と課題

#### 1 長崎県病院企業団の概要

- 長崎県病院企業団は、平成 19 年 7 月「県立及び離島医療圏組合病院あり方検討懇話会（外部有識者会議）」からの提言を受けて、旧県立 2 病院と旧離島医療圏組合 9 病院について、長崎県と島原地域、五島地域及び対馬地域の 5 市 1 町（島原市、南島原市、雲仙市、五島市、新上五島町及び対馬市）で経営する一部事務組合として、平成 21 年 4 月 1 日に発足しました。
- 当病院企業団は、発足時から地方公営企業法の全部を適用し、精神医療センターは県の精神科医療の中核病院として、その他の病院は長崎県の周辺部における地域・離島医療の中核を担う病院として、地域に必要とされる医療の提供を行っています。
- また、平成 27 年 4 月 1 日には、新たに壱岐市が加入し、現在、8 病院 3 附属診療所を運営しています。（病院の概要は資料 1 を参照）

#### 【企業団設立後の病院数、病床数の推移】



#### ■ 県立及び離島医療圏組合病院あり方検討懇話会報告書（骨子）

- ① 運営主体については、県と地元（島原地域、五島地域及び対馬地域）5 市 1 町が共同体を形成して運営すべきである。
- ② 共同体は、県立精神医療センター、県立島原病院及び離島においては現在の入院医療機能を集約化した上で基幹病院をもって構成する。  
なお、県立精神医療センターは、離島の基幹病院の精神科支援を担っていることから共同体に加える。
- ③ 経過措置として共同体設立時には県立 2 病院及び離島医療圏組合 9 病院（地域病院含む）により運営を開始し、一定期間経過後に上記②の形態に改めることも考慮すべきである。なお、地域の事情によっては、（地域病院についても）一定期間経過後も分院あるいは附属診療所として共同体での運営を検討すべきである。
- ④ 将来的には、県内の周辺医療の確保の観点から他の 2 次医療圏の市町の参画についても別途検討すべきである。
- ⑤ 共同体の運営形態としては、より効率的な運営を行うため、地方公営企業法を全部適用した一部事務組合又は共同設立による地方独立行政法人とするべきである。

## 2 地域医療と企業団病院を取り巻く環境

- 地域医療を取り巻く環境は、住民意識の変化や人口減少、社会保障費の抑制、医療従事者の確保難、特定の診療科や地域における医師の偏在など依然として厳しい環境に置かれています。
- 医療従事者のうち医師、看護職員数を見ると、人口10万人当たりの医師数、看護職員数ともに長崎県は全国を上回っていますが、当病院企業団が医療を担っている二次医療圏では、医師数では全国を大きく下回っており、看護職員数では何れも長崎県全体より下回っており、全国は上回っている圏域があるものの、長崎県全体と比較するといずれも下回っており、特に上五島、対馬圏域では顕著となっています。
- このように、長崎県の都市部と離島等の県周辺部では、医療の地域偏在・格差が認められ、特に離島においては、医師等医療従事者不足が深刻なものとなっています。

＜医師・看護職員数の比較＞ (単位:人)

区分	医師数		看護職員数	
	人口10万対	人口10万対	人口10万対	人口10万対
全国	327,210	246.7	1,145,134	901
長崎県	4,300	306.3	19,141	1,390
県南	257	188.9	1,602	1,177
五島	79	211.6	373	998
上五島	33	167.4	172	771
対馬	56	178.0	278	884
壱岐	43	158.7	260	960

※医師数は、H30医師・歯科医師・薬剤師調査(医療施設従事者数)による。

※看護職員数は、H29医療施設(静態・動態)調査による。

※構成市町を含む二次医療圏別

- また、当病院企業団が医療を担っている長崎県の周辺部においては、人口減少が著しく、少子・高齢化も急速に進行しています。また、老年(65歳以上)人口もしばらくは現状を維持しますが、その後は減少に転じることが予想されます。

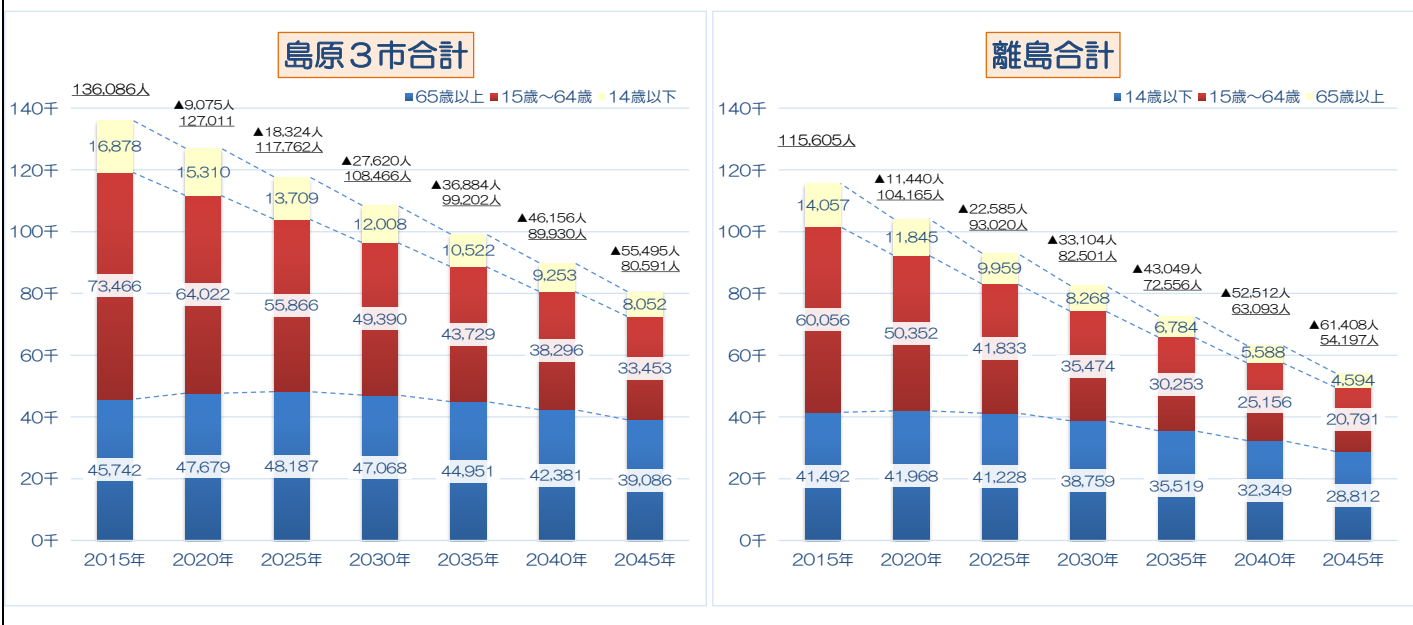
＜構成団体の人口動向＞

(単位:人、%)

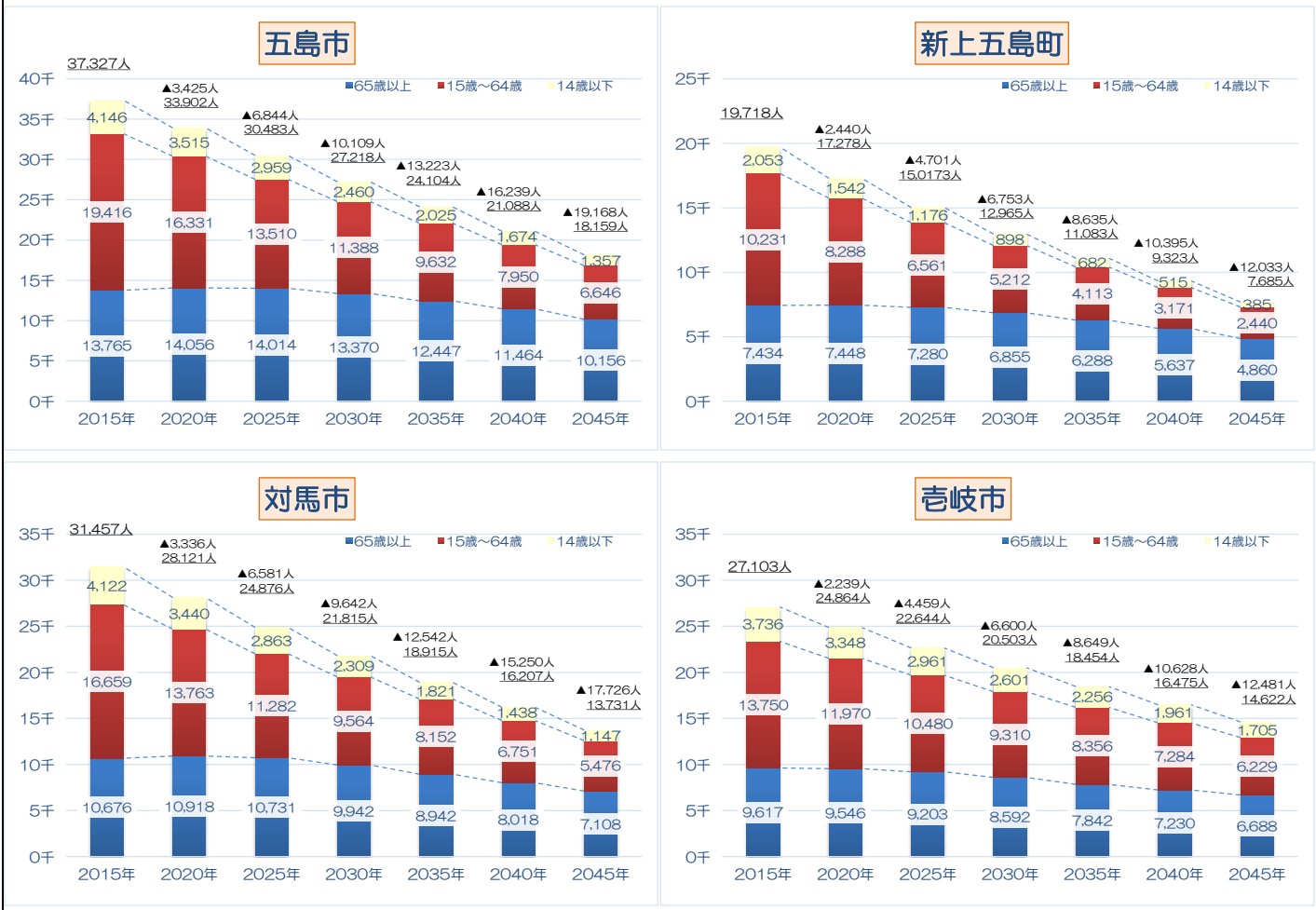
区分	人口及び人口減少(増加)率				年少(15歳未満)人口の割合			老年(65歳以上)人口の割合		
	H27	R2	H27-R2		H27	R2	R2-H27	H27	R2	R2-H27
			実数	増減率						
全国	128,226,483	127,138,033	△ 1,088,450	△ 0.8	12.9	12.2	△ 0.7	25.6	27.9	2.3
長崎県	1,413,155	1,350,769	△ 62,386	△ 4.4	13.1	12.6	△ 0.5	28.4	32.1	3.7
企業団構成市町	265,723	245,982	△ 19,741	△ 7.4	12.1	11.4	△ 0.7	33.0	37.0	4.0
本土計	143,471	133,624	△ 9,847	△ 6.9	12.3	11.7	△ 0.6	31.9	35.9	4.0
島原市	47,409	45,006	△ 2,403	△ 5.1	12.8	12.5	△ 0.3	31.1	34.4	3.3
雲仙市	46,437	43,356	△ 3,081	△ 6.6	12.4	11.8	△ 0.6	30.2	34.3	4.1
南島原市	49,625	45,262	△ 4,363	△ 8.8	11.6	10.9	△ 0.7	34.3	38.8	4.5
離島計	122,252	112,358	△ 9,894	△ 8.1	11.9	11.0	△ 0.9	34.3	38.5	4.2
五島市	39,614	36,704	△ 2,910	△ 7.3	10.8	10.4	△ 0.4	35.2	39.5	4.3
新上五島町	21,145	18,838	△ 2,307	△ 10.9	10.4	8.8	△ 1.6	36.0	41.1	5.1
対馬市	33,000	30,377	△ 2,623	△ 7.9	12.9	11.6	△ 1.3	32.5	36.8	4.3
壱岐市	28,493	26,439	△ 2,054	△ 7.2	13.5	12.8	△ 0.7	33.9	37.0	3.1

※住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査による

### 島原3市および離島の人口推移



### 離島の市町別人口推移



※国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)」による

### 3 これまでの取り組みの検証（病院改革プラン、中期経営計画）

当病院企業団では、平成21年3月に策定した「病院改革プラン」や構成団体の方針、平成24年3月に策定した「中期経営計画」及び平成29年3月に策定した「第2次中期計画」に基づき、経営改善や病院再編等に取り組んできました。

#### （1）経営の健全化

- 経営面では、病院改革プランに掲げた目標値を達成するとともに、病院企業団設立2年目で黒字化と累積欠損金の解消を達成しました。
- これは、医薬品購入等の共同事業や各病院における診療報酬施設基準（加算）の取得・維持、病院機能強化等の経営効率化の取り組みに加え、地域医療再生基金の創設や診療報酬のプラス改定、公立病院に対する交付税措置の拡充など、地域医療確保のための財政支援の充実等が図られたことが大きな要因となっています。
- しかしながら、著しい人口減少等に伴う患者数の減や病院再編に伴う新病院開院準備等の影響等により収益が減少し、経営状況は悪化しており、平成27年度には、経常収支が赤字に陥りました。
- 平成26年度までの経常損益の黒字と会計基準見直しにより全体としては利益余剰金を計上できているものの、平成27年度以降は減少傾向となっており、全職員が経営に関する危機意識を共有し、経営健全化に向けた取り組みの成果を出さなければなりません。なお、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症に関する補助金等により、医業収益の減収等があったものの目標を超える経常損益となりました。

<病院改革プランの目標値と実績（経常収支比率）>			
H21	: 目標	99.3%	→ 実績 99.7%（達成）
H22	: 目標	100.4%	→ 実績 101.6%（達成）
H23	: 目標	100.6%	→ 実績 101.9%（達成）
<中期経営計画の目標と実績（経常収支比率）>			
H24	: 目標	102.1%	→ 実績 102.4%（達成）
H25	: 目標	101.7%	→ 実績 101.5%（未達成）
H26	: 目標	101.9%	→ 実績 101.2%（未達成）
H27	: 目標	100.8%	→ 実績 97.7%（未達成）
H28	: 目標	101.0%	→ 実績 96.3%（未達成）
<第2次中期経営計画の目標と実績（経常収支比率）>			
H29	: 目標	98.7%	→ 実績 96.7%（未達成）
H30	: 目標	100.0%	→ 実績 96.6%（未達成）
R1	: 目標	100.0%	→ 実績 98.8%（未達成）
R2	: 目標	100.1%	→ 見込 103.9%（達成）



(2) 離島病院の再編

- 当病院企業団では、人口減少が著しく、医師等医療従事者の確保が困難な離島地域においては、医療資源の集約化や機能分担による将来を見据えた医療提供体制の構築により、地域が必要とする医療水準の維持を図ることが必要であると考え、構成団体の同意のもと離島病院の再編を進め、平成27年5月の対馬病院開院をもって、病院再編は一定完了したところです。
- 離島病院は、上五島地域の2病院の無床診療所化、五島地域の1病院の有床診療所化、対馬地域の2病院の統合を行い、企業団発足時の9病院から5病院3附属診療所となり、病床数も230床減少しました。(H27.4.1 壱岐病院加入により、6病院3附属診療所)

離島病院再編の状況

【五島地域】

- 奈留病院の五島中央病院附属診療所化 (19床) H26.1
  - ・ 診療所の大規模改修 (スプリンクラー設置を含む) H27.6
- 五島中央病院の勤務環境の整備 H27.12
  - ・ 人材確保のための職員宿舎・院内保育所の整備

<再編前>

名称		病床数
基幹病院	◎五島中央病院	304
地域病院	○富江病院	55
	○奈留病院	52
◎基幹病院1、○地域病院2		411



<再編後>

名称		病床数
基幹病院	◎五島中央病院	304
附属診療所	・奈留医療センター	19
地域病院	○富江病院	55
◎基幹病院1、○地域病院1、・附属診療所1		378

【上五島地域】

○有川病院の上五島病院附属診療所化（無床） H21. 11

- ・ 外来機能強化のため、人工透析室、リハビリテーション室等を整備（H22）

○奈良尾病院の上五島病院附属診療所化（無床） H23. 4

- ・ 通院利便地へ新診療所を建設（H24. 4 新診療所開設）
- ・ 旧奈良尾病院の解体（H27. 3）

○上五島病院の医療機能強化 H28. 7

- ・ 外来増築・改修（入院機能集約化による遠方患者付添い宿泊施設設置含む）

<再編前>

名称		病床数
基幹病院	◎上五島病院	186
地域病院	○有川病院	50
	○奈良尾病院	60
◎基幹病院1、○地域病院2		296



<再編後>

名称		病床数
基幹病院	◎上五島病院	186
附属診療所	・有川医療センター	—
	・奈良尾医療センター	—
◎基幹病院1、・附属診療所2		186

【対馬地域】

○対馬いづはら病院と中対馬病院を統合し、対馬病院を開院 H27. 5

- ・ 新病院（対馬病院）を移転新築（H27. 2）
- ・ 対馬病院の人材確保のための職員宿舎・院内保育所の整備（H28. 1）
- ・ 旧中対馬病院の解体（H28. 3）
- ・ 旧対馬いづはら病院の対馬市への建物譲渡（H28. 3）  
⇒ 対馬市が無床診療所等として活用

○上対馬病院の再整備

- ・ 療養病床（H20. 12～休床中）の廃止（H24. 1）
- ・ 人工透析設備の増設（8→14台）（H24）

<再編前>

名称		病床数
基幹病院	◎対馬いづはら病院	199
地域病院	○中対馬病院	139
	○上対馬病院	84
◎基幹病院1、○地域病院2		422



<再編後>

名称		病床数
基幹病院	◎対馬病院	275
地域病院	○上対馬病院	60
◎基幹病院1、○地域病院1		335

【**沓岐地域**】※参考

○**沓岐市民病院とかたばる病院の統合** H25.4

- ・精神科病床 20 床を廃止 (H25.3)

○**沓岐市民病院の経営主体の統合** H27.4

- ・経営の安定化を図るため、長崎県病院企業団（一部事務組合）に加入

＜沓岐市再編前＞

名称	病床数
沓岐市民病院	200
かたばる病院	48
市立病院2	248



＜沓岐市再編後＞

名称	病床数
沓岐市民病院	228
市立病院1	228



＜病院企業団加入後＞

名称		病床数
基幹病院	◎沓岐病院	228
◎基幹病院1		228

## 4 各地域の課題

### (1) 精神医療センター

#### ○精神科医療の提供

幼少期逆境体験、トラウマ被害、貧困や生活困窮、アルコール・薬物依存その他の嗜癖行動など、複雑困難な背景を有するために治療継続や継続的な社会参加が困難となっている精神疾患患者に対する包括的な治療・援助プログラムが提供できるよう、医療スタッフの技術力向上を図るとともに、他院や地域の障害福祉サービス機関の他、自助グループや市民グループ等のインフォーマルな支援組織等との連携を強化する働きかけをしていく必要があります。

また、クロザピンを使用した薬物療法、および修正型電気けいれん療法の治療提供体制の強化を図り、県内のより多くの治療抵抗性精神疾患患者の症状改善と退院、社会復帰に貢献できるよう努力する必要があります。

#### ○医療従事者の確保・人材育成

離島地域の精神科医療の提供が課題となっている長崎県の公的な中核医療機関として、離島の精神科医療提供体制を維持、発展させるために、精神科医の養成や派遣等が継続できる体制づくりをする必要があります。

また、災害や重大事故、犯罪被害等における精神保健上の課題に対して、公的な医療機関として、より積極的に関与することが期待されており、県内にとどまらず長崎県としての広域的な支援活動に協力できるよう、専門職の養成および派遣体制の強化を図る必要があります。

#### ○経営の健全化

公営企業として、最少の経費で最大の効果を生み出すよう職員の経営意識の変革を図り、収入増加・確保対策と経費削減・抑制対策の取り組みを継続し、さらなる経営の健全化を図る必要があります。

## (2) 島原病院

### ○地域連携による地域完結型医療の提供

県南医療圏の中核病院として、救急医療体制の充実を図り半島内で二次救急医療が完結できる体制強化や、地域医療支援病院として、医療機器の共同利用など地域医療機関と更なる連携を推進することが重要です。

また、地域がん診療連携拠点病院として、がんについての情報発信と質の高い医療の提供を継続・強化していく必要があります。

### ○医療従事者の確保・人材育成

医療の継続性や診療の幅の拡大、診療レベルの向上を図るため、医療従事者の確保及び質の高い人材育成が必要です。

特に、県、市、医師会、長崎大学、長崎医療センター等と連携し、小児医療の安定的な提供を継続していく必要があるとともに、内科医師確保による更なる診療の充実(消化器・循環器・代謝等)も重要な課題です。

### ○経営の健全化

人口減少等により地域の医療提供体制の見直しも必要なことから、地域の医療における自院の役割を明確にし、地域の医療機関等との連携強化により、安定的・持続的に良質な医療を提供するため病院機能の選択的充実を図り経営健全化に取り組む必要があります。

## (3) 五島地域（五島中央病院、奈留医療センター、富江病院）

### ○人口減少、少子・高齢化等による地域環境の変化を踏まえた医療の提供

人口減少が著しく、少子・高齢化も急速に進行しており、患者の医療ニーズも変化してきていることから、地域の医療における自院の役割を明確にし、地域の医療機関、介護施設や行政等との一層の連携強化を図り、将来を見据えた医療提供体制を構築する必要があります。

### ○看護師等医療従事者の確保

医療従事者の確保は引き続き厳しい状況が続いており、今後の退職予定者数の見込みを踏まえ、計画的な確保に努めるとともに、地域病院や附属診療所では確保が難しいため、採用・配置の基幹病院への一本化についても検討する必要があります。

### ○経営の健全化

今後、基幹病院では施設改修、医療機器更新が集中し、資金収支の悪化が見込まれており、資本的支出の増加は減価償却費を増加させ、経常収支を悪化させるため、収益確保や経費節減など経営の健全化に努める必要があります。特に、附属診療所においては、患者数に見合った職員の配置を検討していく必要があります。

#### (4) 上五島地域（上五島病院、有川医療センター、奈良尾医療センター）

##### ○医師等医療従事者の確保、医療水準の維持・向上

医療従事者の計画的な確保、人材の育成に努めるとともに、今後、新専門医制度による研修が開始されることから、新専門医プログラムの連携施設として指導医の育成等研修医を受入れる体制づくりの必要があります。

##### ○人口減少、少子・高齢化等による地域環境の変化を踏まえた医療の提供

人口減少が著しく、少子・高齢化も急速に進行しており、将来を見据えた医療提供体制の構築、機能分担を強化して、チームワークで地域に根ざした地域住民のための地域包括医療、包括ケアを実践していく必要があります。

##### ○病病・病診連携の強化

平成28年度から心臓カテーテル手術が可能になりましたが、脳血管障害や異常分娩など高度な医療を必要とする患者は本土の専門機関へ紹介しています。長崎県下では「あじさいネット」の普及により、これを利用した情報共有が進んでおり、更なる病病間、院外の調剤薬局を含めた病診間の連携の必要があります。

#### (5) 対馬地域（対馬病院、上対馬病院）

##### ○人口減少、少子・高齢化等の地域環境の変化を踏まえた医療の提供

対馬市の人口は、1960年（昭和35年）の69,556人をピークとして急速に人口減少が続いており、2020年（令和2年）5月末には、29,707人と半減以下となっています。基幹病院における医療の質の向上や病診連携、医療・介護連携の一層の強化を図り、島内完結型の医療提供体制を構築するとともに、特に人口減少が著しい北部地区の上対馬病院においては、病床機能のあり方についての検討の必要があります。

##### ○医師等医療従事者の確保

島の面積が広く、集落が離れて点在しているため、地域で総合医療を担う医師の確保に努めるとともに、医療系の学生を対象としたワークショップや看護学生を対象としたインターンシップの定期的な開催や医療技術修学資金を活用した人材確保に努める必要があります。

##### ○経営の健全化

病院建設等に対する起債償還等が開始されることに伴い、ますます厳しい経営状況が続くことが予想されるため、地域で求められる医療の質の維持・向上を図りつつ、収益に見合った固定費等の費用見直しや、郷診郷創による収益確保など経営の健全化に取り組む必要があります。

## (6) 吉岐病院

### **○医師等医療従事者の確保・人材育成**

診療体制の充実・経営の安定化に向けて、常勤医師や看護師をはじめとする医療従事者を計画的に確保する必要がありますので、引き続き初期研修医の地域医療枠の受け入れの強化を図るとともに、内科総合専門医制度の連携病院としての受け入れ体制の充実、総合診療専門医制度に対応するための共同プログラムの開発等、若い医師を育成する体制の整備や職員研修の充実などを図り、医療技術者の人材育成に取り組む必要があります。

### **○人口減少、少子・高齢化等の地域環境の変化を踏まえた医療の提供**

人口減少や少子・高齢化の急速な進行、島外への患者流出など、今後の医療需要等を見極め、可能な限り島内で完結できる医療提供体制の充実を図るとともに、適正な病棟体制・病床数などの診療体制見直しの検討の必要があります。

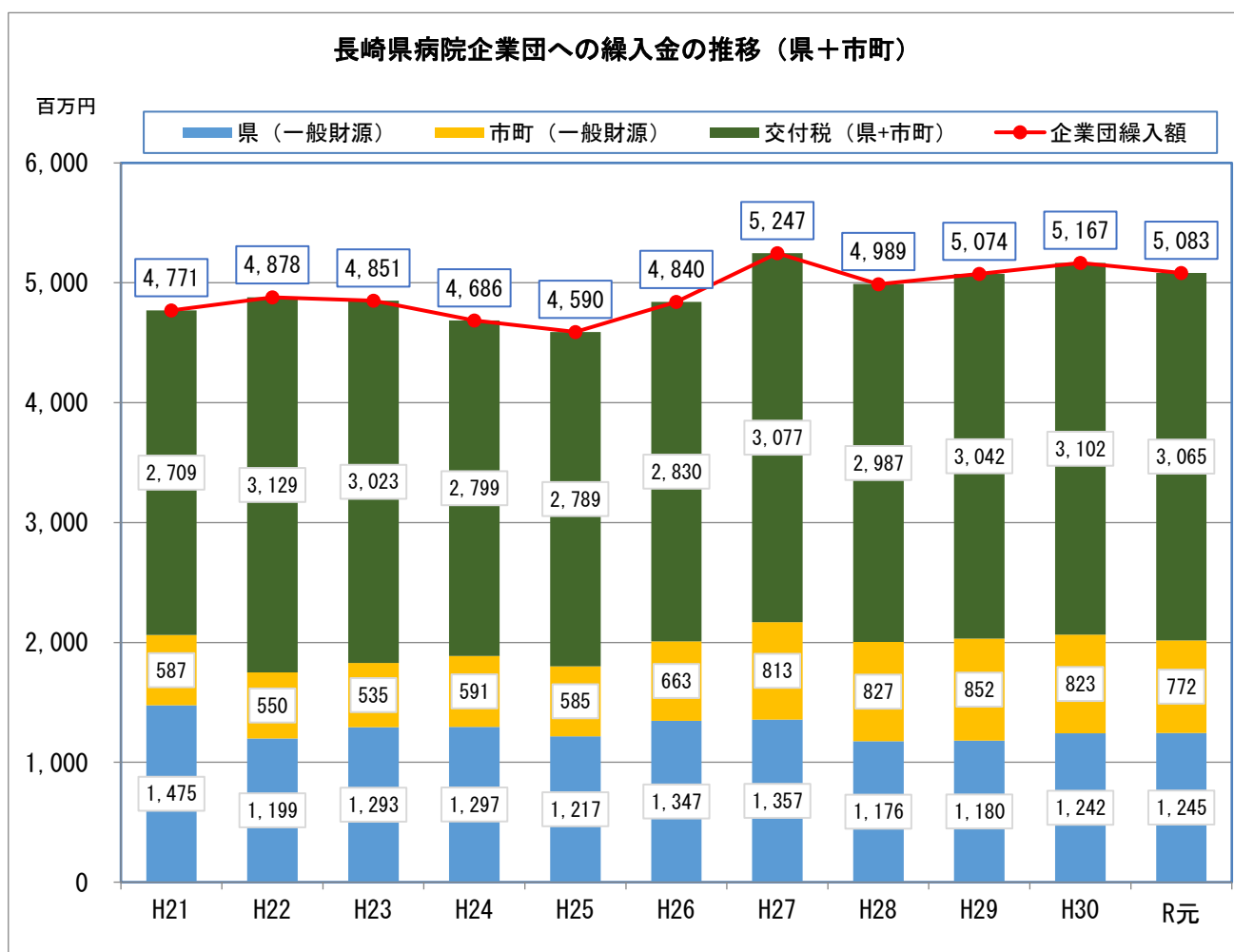
### **○医療・介護等連携と経営健全化の推進**

吉岐医療圏の基幹病院として専門外来等の医療機能の充実を図ってきたが、医療需要等を見極めながら見直しを検討することも必要です。

また、地域包括ケア病棟を中心に吉岐地域の地域包括ケアシステムの中心的な役割を果たす医療機関として、関係機関との連携の更なる強化を図るとともに、あじさいネットを活用した病診連携の推進を図るとともに、これらを安定的かつ継続的に提供していくため経営を健全化する必要があります。

## 5 構成団体負担（繰入金）の考え方

- 地方公営企業である病院事業は独立採算制が基本原則ですが、公立病院として保健衛生行政への協力や、地域住民の医療を確保するため不採算であっても医療を提供することが求められます。
- このため、当病院企業団においては、地方公営企業法や毎年度総務省から通知される「繰出基準」の基本的な考え方を基にし、採算が困難な分野や高額な医療機器の購入等に対して、「長崎県病院企業団構成団体負担要綱」で負担ルールを定め、構成団体から適切な負担を受けています。
- 構成団体からの繰入金の推移をみると、近年はほぼ横ばいとなっていますが、今後、高度医療機器等が更新時期を迎えることや施設の老朽化等による改修等の増加（繰入金が増加）も想定されるため、医療機器等の計画的な整備や補助金等の活用、民間企業の優れた経営手法を参考に経営効率化を進め、構成団体の負担軽減に努めます。





## Ⅳ 第3次中期経営計画の基本的な考え方

### 1 策定趣旨

- 当病院企業団が医療を担う地域において、今後とも継続的で安定的な医療の確保・維持を図るためには、厳しさを増す地域医療を取り巻く環境の変化に的確に対応し、長崎県が策定した「地域医療構想」との整合性を図りつつ、将来を見据えた医療提供体制の構築や経営基盤の確立を図る必要があります。
- そのため、企業団病院の果たすべき役割や目的を踏まえ、平成27年3月に策定された「新公立病院改革ガイドライン」に沿って、令和6年度までの今後4カ年の取組を明確化した計画（経営の方向性）を策定するものです。

### 2 計画の位置づけ

- 本計画は、当病院企業団としての今後の経営方針に関する計画であり、職員一人ひとりが中期的な視点に立って、それぞれの地域・病院が抱える課題に取り組むための目標、指針となるものです。
- また、平成29年3月に策定した「中期経営計画」の期間満了による継続計画とするとともに、「新公立病院改革ガイドライン」に基づく、「新たな公立病院改革プラン」に位置づけるものです。

### 3 計画期間

- 令和3年度から令和6年度までの4年間の計画とします。

## Ⅴ 第3次中期経営計画の取組方針

第3次中期経営計画期間中（R3～6）の取組方針として、次のとおり定めます。

- 地域医療構想における地域での果たすべき役割に沿った医療機能の充実
- 地域包括ケアシステム構築に向けた関係機関との連携強化
- 著しい人口減少、急激な少子・高齢化を踏まえた医療提供体制の最適化
- 県、長崎大学、長崎医療センター等との連携等による医師等医療従事者の確保
- 安定した経営基盤の確立
- 医療の質の向上を目的に活力ある組織体制の構築

## VI 長崎県病院企業団全体の取り組み

### 1 「長崎県医療計画」、「地域医療構想」等に基づく医療提供体制の整備

- 当病院企業団病院は、県の精神科医療及び県周辺部の地域・離島医療を担う中核病院として、構成団体の医療担当部局とも十分な連携を図りながら、「長崎県医療計画」に基づく政策医療の推進等に取り組みます。
- 特に、県医療計画の医療提供体制構築に関する基本的な考え方に掲げられている「医療連携体制の構築」、「医療機関の機能分担と連携」、「保健、福祉（介護）との連携」、「県民の理解と協力を得るための情報の発信」の項目については、重点的に取り組むこととし、公立病院としての役割や使命を果たしていきます。
- また、「地域医療構想」では、2025年を見据えて、回復期病床の充実や在宅医療等の体制整備が求められており、地域に必要な病床機能への見直しなど医療提供体制の充実や医療・介護の連携強化などによる地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組みます。
- 新型コロナウイルス感染症にかかる国や県の方針に沿って医療提供体制の整備や人材育成に取り組むなど、感染症対策の強化を図ります。

### 2 医師・看護師等医療従事者確保対策

- 医師確保については、県養成医制度と長崎大学からの派遣が中心となりますが、県の施策との連携を図りながら、引き続き、長崎大学、長崎医療センター及び長崎大学以外の大学への医師派遣要請、ホームページへの医師募集掲載、民間医師求人サイトへの登録などの取り組みを進めます。
- 看護師確保については、NPO法人ジャパンハートとの協定締結による派遣やアイランドナースネットワーク事業による派遣拡充、診療看護師の採用など、その取組を強化してきたところではありますが、引き続き、医療技術修学資金貸与制度による養成や認定看護師育成研修費貸与制度、離島枠の設定による採用派遣（本土病院の看護師募集に設定）、募集体制の充実（試験回数、広報活動、都市部での試験開催）などの取り組みを進めます。
- 薬剤師など、その他の医療技術者については、特に離島においては確保が難しくなっており、医療技術修学資金貸与制度の活用などにより、引き続き確保に努めます。
- 看護補助者については、外国人技能実習制度を活用するなど、国内に限らず外国も含め、従事者確保に努めます。

### 3 地域外患者流出の抑制対策

- 著しい人口減少や急速な少子・高齢化、患者ニーズの変化等により、患者数の減少傾向が続くなど、病院経営を取り巻く環境は大変厳しいものとなっています。

- こうした患者数減少の状況に歯止めをかけ、地域に必要とされる医療の質の維持・向上を図るため、“郷診郷創”<sup>きょうしんきょうそう</sup>をスローガンに行政と協働して地域外患者流出の抑制に努めます。

#### 4 効率的・効果的な運営体制の確立

- 基幹病院を中心とした医療提供体制を構築し、契約事務等の共同処理や情報の共有化を推進し、効率的で効果的な運営体制の確立を目指します。

#### 5 職員の意識改革と経営感覚に富む人材の確保・育成

- 地域において必要な公立病院として、良質な医療提供と安定した経営との両立を、継続的に図っていく必要があり、職員一人ひとりが病院職員としての高い専門性と経営感覚を持ち、また、同じ目的意識を共有すべく一体感の醸成を図り、地域住民に信頼される病院づくりに努めるよう意識改革を進めていきます。
- 医師をはじめ看護師、薬剤師等の医療従事者の確保が困難な状況が続く中で、職員が働きやすい環境づくりに努めるとともに、高い専門性や高度の技術を有する人材を育成するため、引き続き、職員研修等の充実強化を図り、魅力ある職場づくりに取り組みます。
- 医療経営においては、医療環境の急激な変化などから、専門知識がますます必要になっていることを踏まえ、外部人材の活用、プロパー専門職の採用、専門的なスキルをもった事務職員の計画的な育成などを推進します。

#### 6 共同事業

- 企業団としてのスケールメリットを活かした共同事業については、医薬品、検査試薬・検査外注、診療材料、エレベーター保守点検、複写サービス等について実施しています。
- 今後、共同契約の見直しも含め効果的な手法がないか検討を行うとともに、企業団の枠にとらわれず、民間等で実施されている共同購入事業に参加を検討するなど、更なる経費節減に努めます。

#### 7 後発医薬品の使用促進

- 後発医薬品の使用については、令和元年度の実績は、全体で72.8%と利用促進は進んでいるものの国の目標に達していませんが、精神医療センターを除く基幹病院すべてで85%を超えており、引き続き、全医療機関で80%を目指します。

#### 8 計画的な医療機器等の整備

- 電子カルテシステムは、診療効率の向上、医師等医療従事者の労働環境改善の面から有用であり、基幹病院や離島の地域病院においても導入し運用しているところですが、その整備には多額の費用を要するため、今後予定されるシステムの更新にあたっては、平準化を図りながら計画的な整備に努めます。
- CT・MRI等の高度医療機器については、地域における基幹病院・へき地医療拠点病院として、地域に求められる良質で高度な医療提供を図る上で、その整備は欠

かせないものですが、費用対効果の検討など、経営面との兼ね合いも図りながら計画的な整備に努めます。

## 9 構成団体負担金のあり方

- 長崎県病院企業団構成団体負担要綱は、地方公営企業法に基づく負担金と一部事務組合の本部機能等に対する負担金に大きく区分されます。
- 地方公営企業法に基づく負担金は、病院の経営に対し一般会計が負担する経費及び補助することができる経費で、構成団体との協議のもと、国の定めた繰り出し基準に基づく負担要綱を定め、病院収益で賄うことが難しい政策医療等に対して不足する金額について、県と市町が負担することとしています。
- また、本部機能として必要な経費は、各病院の負担としていますが、一部事務組合の連合体として共同で担う組織の運営に要する経費（議会、監査等）については、県と市町が全額負担することとしています。

## 10 再編・ネットワーク化

- 当病院企業団では、「病院改革プラン」や「中期経営計画」に基づき、病院再編等に取り組んできましたが、将来の医療需要等も踏まえ、「長崎県地域医療構想」との整合性を図りつつ、地域に必要な病床機能・病床数の見直しなど、更なる再編・ネットワーク化について検討することとし、その内容を各病院の取り組みの中に盛り込みます。

## 11 経営形態の見直し

- 当病院企業団は、発足時から地方公営企業法の全部適用により運営しています。構成団体である長崎県及び7市町から独立した特別地方公共団体であり、高い自律性が確保されているため、現在の経営形態を継続することとします。

## VII 各地域及び病院における取り組み

### 1 精神医療センターの取組方針

- 24時間・365日対応する「精神科救急医療センター」機能を維持強化するために、精神科救急医療に従事する医師の養成と確保、看護スタッフその他のコメディカルスタッフの技術向上、多職種チーム医療の効果的な提供、病棟構造・環境の改善等を計画的に行いながら、患者のスムーズな受け入れ、入院期間の短縮等の機能充実を図ります。
- クロザピンを使用した薬物療法や修正型電気けいれん療法の適応がある治療抵抗性精神疾患患者を他医療機関から紹介患者も含めて積極的に受け入れ、治療実績の増加を図るとともに、重症患者や長期入院患者の退院促進、入院期間の短縮等に寄与します。
- また、県内各地域でクロザピンによる外来治療が受けられるよう、クロザピン患者モニタリングサービス登録医療機関の増加に向けた働きかけも強化していきます。
- 幼少期逆境体験、トラウマ被害、貧困や生活困窮、アルコール・薬物依存その他の嗜癖行動など、複雑困難な背景を有する精神疾患患者に対する包括的治療・援助プログラムを実施できる医師、その他のスタッフを育成するとともに、地域の医療施設、障害福祉サービス機関、その他の関係機関や組織等との連携強化を図ります。
- 児童思春期精神疾患の治療に従事する医師の養成を、長崎大学精神神経科学講座、同地域連携児童思春期精神医学講座と連携しながら計画的に行います。
- 心神喪失者等医療観察法の指定医療機関として、クロザピンを使用した薬物療法や修正型電気けいれん療法の積極的な導入、再犯防止のための認知行動療法プログラムの技術習得と実施、法務省、県内外の医療機関、その他の関係機関との連携強化等を図りながら、治療実績の増加および治療成績の向上を目指します。
- 離島地域の精神科医療維持のため、精神科医の養成や派遣等が継続できる体制づくりに努めます。
- 登録を受けている長崎県災害派遣精神医療チーム（DPAT）先遣隊の派遣、長崎県学校危機へのこころの支援事業（GRT）への協力、その他、大規模なトラウマ被害事案発生時における精神科医師の派遣等ができるよう、体制整備に努めます。
- 今後の長崎県の精神科医療を見据えた、精神医療センターの建て替え計画の策定に着手します。
- 効率的な病院運営体制づくりに努め、収入増加・確保対策と経費削減・抑制対策を進めることにより経営基盤を強化し、さらなる収支の改善を目指します。

## 精神医療センターの取組

### 1 地域医療構想を踏まえた役割の明確化

#### (1) 病院の果たすべき役割

- 長崎県精神科医療の拠点病院として、精神科救急医療、児童・思春期精神科医療及び司法精神医療など民間医療機関では対応困難な医療の提供
- 精神科第3次救急医療機関として、24時間・365日体制で精神科急性期患者の受け入れ
- 精神科医師の離島地区へ派遣支援

#### (2) 医療機能等指標に係る数値目標

(1)医療機能・医療品質に係るもの	H30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度計画	R4年度計画	R5年度計画	R6年度計画	備考
救急患者数(人)	186	182	184	184	184	184	184	
(再掲)救急車等による患者数(人)	9	22	16	16	16	16	16	
臨床研修医の受入件数(件)	2	3	4	6	7	8	9	
医師派遣等件数(件)	282	122	65	107	107	107	107	
紹介率(%)	54.7	56.1	55.4	55.4	55.4	55.4	55.4	
逆紹介率(%)	69.0	65.7	67.4	67.4	67.4	67.4	67.4	
訪問診療・看護件数(件)	749	1,782	2,052	2,109	2,166	2,223	2,280	
リハビリ件数(件)	6,660	7,330	8,016	8,172	8,328	8,484	8,640	
(2)その他	H30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度計画	R4年度計画	R5年度計画	R6年度計画	備考
患者満足度(%)	72.6	76.0	77.5	79.0	80.5	82.0	83.5	
健康・医療相談件数(件)	74	75	76	77	78	79	80	

## 2 経営の効率化

### (1) 経営指標に係る数値目標

(1) 収支改善に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
経常収支比率(%)	104.8	105.4	110.2	100.6	102.5	102.7	102.2	
医業収支比率(%)	80.3	80.4	84.0	80.7	79.4	79.8	80.0	
修正医業収支比率(%)	84.0	83.5	88.3	87.0	84.0	84.3	83.8	
(2) 経費削減に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
材料費対医業収益比率(%)	11.2	10.9	11.8	12.3	11.1	11.0	11.0	
委託費対医業収益比率(%)	9.0	9.2	9.5	10.0	11.2	11.1	11.5	
職員給与費対医業収益比率(%)	87.6	88.3	82.3	86.4	86.0	85.9	86.2	
減価償却費対医業収益比率(%)	8.3	8.0	7.7	7.3	10.0	9.8	8.9	
後発医薬品の使用割合(%)	19.0	24.6	24.8	25.0	25.2	25.4	25.6	
(3) 収入確保に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
新入院患者数(人)	302	316	312	310	316	321	326	
1日当たり入院患者数(人)	100.3	101.4	111.2	113.4	105.7	106.3	107.0	
1日当たり外来患者数(人)	54.4	58.7	55.9	55.9	58.7	58.7	58.7	
入院患者1人1日当たり診療収入(円)	30,319	29,822	29,697	30,251	29,438	29,447	29,455	
外来患者1人1日当たり診療収入(円)	15,124	13,974	13,583	14,376	14,126	14,148	14,170	
病床稼働率(%) <全体>	72.2	72.9	80.0	81.6	76.0	76.5	77.0	
病床利用率(%) <全体>	71.6	72.3	75.0	80.9	75.4	75.9	76.3	
(再掲)病床利用率(%) <精神>	71.6	72.3	75.0	80.9	75.4	75.9	76.3	
(再掲)平均在院日数(日) <精神>	119.5	119.5	119.8	132.4	121.4	120.6	119.2	
(4) 経営の安定性に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
医師数(人)	9	8	7	7	7	7	7	
現金保有残高(千円)	831,457	451,769	518,345	456,524	285,328	299,594	261,550	
企業債残高(千円)	165,427	214,764	186,777	345,754	293,931	245,248	193,342	

### (2) 経常収支比率に係る目標設定の考え方

長崎県精神科医療の拠点病院としての役割を果たすため、経営の効率化を図りながら、現状の経常収支黒字を維持します。

### (3) 目標達成に向けた主な取組

#### ① 経費削減・抑制対策

- 人員の適正な配置（毎年度）
- 経費の節減（毎年度）
- インターネットによる物品購入（毎年度）

#### ② 収入増加・確保対策

- 地域生活を支援する取り組み（毎年度）
- 地域との連携を含む多職種取り組みの強化（毎年度）
- 質の高い入院医療の評価（毎年度）
- 地域生活への移行支援（毎年度）
- 急性期患者の積極的受け入れと精神科救急病棟の充実（毎年度）
- 勤務環境改善の取り組み（毎年度）
- 措置入院患者の退院支援（毎年度）
- 児童・思春期患者の積極的受け入れ（毎年度）
- 児童・思春期専門外来の充実（毎年度）
- 医療観察病棟の適正な運営（毎年度）
- 修正型電気けいれん療法を軸とした病病・病診連携（毎年度）
- 栄養指導件数増加に向けた取り組み（毎年度）
- 薬剤管理指導業務の充実・増加（毎年度）
- 診療報酬の請求漏れ対策（毎年度）
- 診療報酬を考慮した心理検査の実施（毎年度）
- 実習受け入れ拡大（毎年度）
- 未収金対策の取り組み（毎年度）
- 病院経営に参画する意識の醸成（毎年度）

### ③その他

- 県内精神科医療のセーフティネット等としての機能（毎年度）
- 急性期患者への対応（毎年度）
- 離島地域の診療応援（毎年度）
- 医療機関等の精神科看護を担う人材育成への協力・支援（毎年度）
- 安全で効率的な医療の提供（毎年度）
- 患者・家族相談窓口機能の強化（毎年度）
- 患者・家族サービスの向上（毎年度）
- 訪問教育の実施（毎年度）
- 入院食の積極的アピール（毎年度）
- 看護の質の向上（毎年度）



## 2 島原病院の取組方針

- 地域の中核病院として、救急医療、がん医療、脳卒中医療をはじめとした病院機能のさらなる充実を図ります。
- 医療従事者の確保や人材育成を行うとともに、院内の多職種によるチーム医療を推進することにより、質の高い医療の提供を目指します。
- 集学的ながん治療を実施し、がん相談支援やがんサロン等の開催でがん患者のサポートを充実させ、より良いがん診療サービスやより質の高いがん医療を提供します。
- 地域（医療、介護）との機能分担と連携強化を推進し、地域完結型医療体制を目指します。
- 公立病院として、安定した健全な病院経営を目指します。
- 働き方改革の実現に向けて職員の負担軽減及び勤務環境の改善に取り組み、働きやすい職場づくりに努めます。

### 島原病院の取組

#### 1 地域医療構想を踏まえた役割の明確化

##### (1) 病院の果たすべき役割

- 地域の中核病院として、救急医療、がん医療、脳卒中医療をはじめとした病院機能のさらなる充実
- がん診療センターを有効活用して、より良いがん診療サービスやより質の高いがん医療の提供
- 質の高い人材育成や医療の提供を行うとともに、公立病院として安定した健全な病院経営
- 地域の医療機関との情報交換を密にし、相互の役割分担や医療介護連携を推進し、地域完結型医療体制の構築
- 救急医療、がん医療、脳卒中医療等の地域の中核病院として求められる役割・機能を維持しつつ、質の高い医療を提供するとともに、地域医療構想の実現に向けて、ICTの有効活用などによる、地域の医療機関や介護施設等との機能分担や連携強化

##### (2) 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割

- 地域包括ケア病棟を効果的に活用しながら、地域の各医療機関や介護・福祉施設との役割分担や連携強化を推進し、地域の特性に応じたシステム構築の寄与

(3) 医療機能等指標に係る数値目標

(1)医療機能・医療品質に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
救急患者数(人)	5,762	6,150	5,100	5,100	5,100	6,276	6,276	
(再掲)救急車等による患者数(人)	1,903	1,930	1,848	1,848	1,848	2,000	2,000	
手術件数(件)	1,347	1,419	1,320	1,440	1,440	1,440	1,440	
臨床研修医の受入件数(件)	1	0	3	3	4	4	4	
医師派遣等件数(件)	88	82	84	85	85	85	85	
紹介率(%)	69.6%	69.3%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	70.0%	
逆紹介率(%)	79.4%	82.6%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	
在宅復帰率(%)	90.4%	89.3%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	
リハビリ件数(件)	80,978	87,422	88,200	92,160	92,160	92,160	92,160	
クリニカルパス件数(件)	1,789	2,178	1,900	2,000	2,100	2,100	2,100	
(2)その他	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
患者満足度(%)	56.6%	61.0%	65.0%	65.0%	68.0%	68.0%	68.0%	
健康・医療相談件数(件)	591	840	5,500	5,500	5,500	5,500	5,500	

(4) 住民の理解を得るための取組

- 市民公開講座、地域連携セミナー、健康フェスタ等各種イベントやHP、情報誌、TV等各種メディアを活用し、情報発信を推進します。
- 病院運営協議会を開催し、地域の意見を幅広く取り入れながら、理解を求めます。

## 2 経営の効率化

### (1) 経営指標に係る数値目標

(1) 収支改善に係るもの	H30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度計画	R4年度計画	R5年度計画	R6年度計画	備考
経常収支比率(%)	96.8%	100.2%	111.5%	104.0%	97.3%	103.8%	104.4%	
医業収支比率(%)	93.5%	98.6%	92.5%	98.7%	88.7%	97.3%	98.2%	
修正医業収支比率(%)	101.9%	108.2%	98.0%	104.9%	98.4%	106.0%	106.7%	
(2) 経費削減に係るもの	H30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度計画	R4年度計画	R5年度計画	R6年度計画	備考
材料費対医業収益比率(%)	24.2%	22.9%	21.8%	21.4%	22.6%	22.1%	21.6%	
委託費対医業収益比率(%)	9.2%	8.7%	10.5%	9.3%	10.5%	9.6%	9.8%	
職員給与費対医業収益比率(%)	55.7%	53.0%	58.0%	54.4%	59.2%	54.4%	54.4%	
減価償却費対医業収益比率(%)	8.9%	7.9%	7.9%	6.9%	10.5%	7.7%	7.3%	
後発医薬品の使用割合(%)	96.7%	95.7%	94.0%	95.0%	95.0%	95.0%	95.0%	
(3) 収入確保に係るもの	H30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度計画	R4年度計画	R5年度計画	R6年度計画	備考
新入院患者数(人)	4,612	4,810	4,325	4,971	4,379	4,857	4,842	
1日当たり入院患者数(人)	192.9	217.1	181.8	204.3	180.0	199.6	199.0	
1日当たり外来患者数(人)	245.8	245.7	227.8	245.4	222.6	244.4	243.1	
入院患者1人1日当たり診療収入(円)	52,370	51,522	53,769	55,212	56,557	57,471	58,399	
外来患者1人1日当たり診療収入(円)	20,753	20,942	22,529	22,862	23,101	24,145	25,235	
病床稼働率(%) <全体>	75.9%	85.2%	71.6%	71.1%	70.9%	78.6%	78.3%	
(再掲)病床稼働率(%) <DPC・急性期入院>	75.6%	84.0%	70.6%	70.1%	69.9%	77.5%	77.2%	
病床利用率(%) <全体>	71.0%	80.1%	66.9%	75.1%	66.1%	73.4%	73.1%	
(再掲)病床利用率(%) <DPC・急性期入院>	70.5%	78.8%	65.8%	73.9%	65.0%	72.2%	71.9%	
(再掲)病床利用率(%) <地域包括ケア・回復リハ>	72.8%	85.7%	71.6%	80.4%	70.7%	78.5%	78.2%	
(再掲)病床利用率(%) <精神>	-	-	-	-	-	-	-	
(再掲)病床利用率(%) <療養>	-	-	-	-	-	-	-	
平均在院日数(日) <一般病床>	14.3	15.5	14.4	14.0	14.0	14.0	14.0	
(再掲)平均在院日数(日) <DPC・急性期入院>	12.7	13.8	12.8	12.5	12.5	12.5	12.5	
(再掲)平均在院日数(日) <地域包括ケア・回復リハ>	28.3	27.8	25.8	25.1	25.1	25.1	25.1	
(再掲)平均在院日数(日) <精神>	-	-	-	-	-	-	-	
(4) 経営の安定性に係るもの	H30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度計画	R4年度計画	R5年度計画	R6年度計画	備考
医師数(人)	30	27	29	30	30	30	30	
現金保有残高(千円)	1,085,066	1,137,166	1,166,957	2,061,392	1,265,999	736,492	1,007,712	
企業債残高(千円)	5,650,133	5,031,704	4,628,483	5,421,615	5,444,302	4,844,522	4,516,152	

### (2) 経常収支比率に係る目標設定の考え方

- 地域との機能分担と連携強化を推進するとともに、地域の中核病院として、救急医療、がん医療、脳卒中医療をはじめとした病院機能のさらなる充実を図り、安定した健全な病院経営を目指します。

### (3) 目標達成に向けた主な取組

#### ①経費削減・抑制対策

- 後発医薬品の採用促進 (毎年度)
- 診療材料費の削減 (毎年度)
- 光熱費の節減対策 (毎年度)
- 栄養補助食品の適切な使用 (毎年度)
- 放射線装置の採算性を重視した適正配置 (毎年度)
- 免疫染色の使用頻度の少ない検体の見直し (毎年度)

#### ②収入増加・確保対策

- 新たな施設基準の取得ならびに患者指導管理料の件数増加 (毎年度)
- 病棟薬剤業務の充実 (毎年度)
- 未収金対策の推進 (毎年度)
- 緩和ケア精神腫瘍科医師の確保 (令和2年度以降確保、実施)
- 女性検査技師による乳腺エコー検査を新設 (令和2年度検討)

#### ③その他

- 患者サービスの向上 (毎年度)
- 医療機器の計画的な更新 (毎年度)
- がん薬物療法、感染制御認定薬剤師の育成 (令和3年度以降)

### 3 五島地域の取組方針

- 地域医療構想における医療需要を考慮し、地域における他の病院との状況を踏まえながら、地域に合った医療提供体制の見直しを図ります。
- 今後の医療需要等を見極め、病棟体制・病床数の見直しを検討するとともに、地域包括ケアシステム構築に向けて、島内の医療ネットワークの充実に努めます。
- 医療技術修学資金貸付制度の活用や職員採用・配置の五島中央病院への一本化など医療従事者の確保に努めます。
- 計画的な施設改修、医療機器の購入、職員配置数の適正化など経営健全化の推進を図ります。
- 院内保育所の運営など、勤務環境の改善に取り組み、働きやすい職場づくりに努めます。
- リハビリテーション等回復期機能を提供できる体制構築に努めます。

#### 五島中央病院（附属診療所奈留医療センター含む）の取組

##### 1 地域医療構想を踏まえた役割の明確化

###### (1) 病院の果たすべき役割

- 五島医療圏の中核病院として、急性期、小児・周産期、精神、救急、災害、へき地医療の提供
- 回復期を担う病床が少ないため、適切な回復期機能が提供できる体制の構築（地域域包括ケア病棟の導入）
- 後方支援病院、診療所、施設等との連携構築
- 地域医療連携室充実による地域の医療・介護との連携強化、在宅支援
- 臨床研修病院として、研修医や医学生等を積極的に受入れ、地域医療を担う人材の育成
- 地域の診療所として、一次救急を担うとともに、訪問診察・看護・リハ等の計画的な実施（奈留）

###### (2) 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割

- 市、医師会、他医療機関、介護施設等との連携強化
- 地域医療連携室が中心となり、地域の医療機関、介護事業所等の多職種が集う連携の場、研修の機会の設定
- 職員のコミュニケーション能力向上やスキルアップを目的とした教育支援
- 患者に関わる多職種が迅速に情報を共有するため、当院が中心となり地域の医療機関、介護事業所等と情報共有ネットワーク（あじさいネット）による連携推進
- 調剤情報共有システムを活用し薬局との情報共有の推進

- 人間ドック、乳がん・子宮がん健診など積極的に受け入れ、住民の健康づくりの推進

### (3) 医療機能等指標に係る数値目標

#### 【五島中央病院】

(1)医療機能・医療品質に係るもの	H30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度計画	R4年度計画	R5年度計画	R6年度計画	備考
救急患者数(人)	7,750	8,345	8,345	8,345	8,345	8,345	8,345	
(再掲)救急車等による患者数(人)	1,244	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	
手術件数(件)	759	916	916	916	916	931	931	
臨床研修医の受入件数(件)	3	4	5	4	4	4	4	
医師派遣等件数(件)	120	106	106	106	106	106	106	
紹介率(%)	30.3	30.1	31.5	29.9	29.7	29.7	29.7	
逆紹介率(%)	32.5	25.1	26.2	24.9	24.8	24.8	24.8	
訪問診療・看護件数(件)	0	0	0	0	0	0	0	
在宅復帰率(%)	90.8	86.0	86.0	86.0	86.0	86.0	86.0	
リハビリ件数(件)	16,371	21,947	23,116	21,940	21,968	22,024	21,972	
分娩件数(件)	140	143	143	143	143	143	143	
クリニカルパス件数(件)	795	866	866	866	866	866	866	
(2)その他	H30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度計画	R4年度計画	R5年度計画	R6年度計画	備考
患者満足度(%)	82.0	80.0	82.0	82.0	82.0	82.0	82.0	
健康・医療相談件数(件)	5,989	7,297	7,297	7,697	7,697	7,697	7,697	

#### 【奈留医療センター】

(1)医療機能・医療品質に係るもの	H30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度計画	R4年度計画	R5年度計画	R6年度計画	備考
救急患者数(人)	525	566	550	540	530	520	510	
(再掲)救急車等による患者数(人)	46	56	55	54	53	52	51	
臨床研修医の受入件数(件)	8	8	8	8	8	8	8	
紹介率(%)	10.9%	18.2%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	
逆紹介率(%)	17.5%	20.9%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%	
訪問診療・看護件数(件)	129	129	130	135	140	140	140	
リハビリ件数(件)	800	1488	0	0	0	0	0	
(2)その他	H30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度計画	R4年度計画	R5年度計画	R6年度計画	備考
健康・医療相談件数(件)	950件	2,172件	2,100件	2,050件	2,000件	1,950件	1,900件	

### (4) 住民の理解を得るための取組

- 高齢化が進む中で、行政・介護・福祉との連携や在宅医療を支援します。
- 五島市(支所含む)との定期的な情報交換会を開催します。
- 市民公開講座など地域住民向け研修会を開催します。

## 2 経営の効率化

### (1) 経営指標に係る数値目標

#### 【五島中央病院】

(1) 収支改善に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
経常収支比率(%)	97.9	101.2	107.2	94.9	100.5	100.6	100.2	
医業収支比率(%)	81.6	87.7	76.6	81.5	86.2	85.8	85.2	
修正医業収支比率(%)	92.1	91.9	84.8	93.2	89.8	95.5	95.3	
(2) 経費削減に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
材料費対医業収益比率(%)	24.3	25.7	26.2	23.8	25.2	25.1	25.1	
委託費対医業収益比率(%)	12.2	11.6	13.1	11.1	12.1	12.1	12.4	
職員給与費対医業収益比率(%)	64.7	58.1	65.8	57.0	59.3	59.7	60.0	
減価償却費対医業収益比率(%)	11.6	9.1	11.4	10.4	10.4	10.5	11.0	
後発医薬品の使用割合(%)	86.3	86.6	92.8	92.8	92.8	92.8	92.8	
(3) 収入確保に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
新入院患者数(人)	3,679	3,884	3,619	3,935	3,935	3,990	3,984	
1日当たり入院患者数(人)	183.1	195.2	195.3	206.7	206.7	208.0	208.0	
1日当たり外来患者数(人)	593.6	618.6	525.4	558.7	559.0	559.8	559.9	
入院患者1人1日当たり診療収入(円)	35,770	38,126	37,818	38,071	38,089	38,088	38,089	
外来患者1人1日当たり診療収入(円)	9,155	9,736	11,062	10,771	10,779	10,778	10,777	
病床稼働率(%) <全体>	60.2	64.2	64.2	68.0	68.0	68.4	68.4	
(再掲)病床稼働率(%) <DPC・急性期入院>	70.8	73.7	73.1	74.7	74.7	75.5	75.4	
病床利用率(%) <全体>	56.9	60.7	61.0	64.5	64.5	64.9	64.9	
(再掲)病床利用率(%) <DPC・急性期入院>	65.7	68.2	67.8	69.2	69.2	69.8	69.8	
(再掲)病床利用率(%) <地域包括ケア・回復リハ>	49.2	65.8	69.0	85.1	85.1	85.1	85.1	
(再掲)病床利用率(%) <精神>	49.9	48.1	51.0	48.1	48.1	48.1	48.1	
平均在院日数(日) <一般病床>	14.8	15.3	16.2	16.1	16.1	16.1	16.0	
(再掲)平均在院日数(日) <DPC・急性期入院>	12.9	12.5	12.7	12.4	12.4	12.4	12.4	
(再掲)平均在院日数(日) <地域包括ケア・回復リハ>	18.9	22.6	23.1	29.1	29.1	29.2	29.1	
(再掲)平均在院日数(日) <精神>	80.4	75.9	78.6	75.7	75.7	75.9	75.7	
(4) 経営の安定性に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
医師数(人)	27.0	26.0	26.0	26.0	26.0	26.0	26.0	
現金保有残高(千円)	1,852,756	2,213,356	1,782,051	1,361,357	1,293,551	1,191,581	1,085,033	
企業債残高(千円)	5,822,328	6,132,317	5,874,354	5,343,330	5,075,096	4,575,801	4,057,429	

## 【奈留医療センター】

(1) 収支改善に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
経常収支比率(%)	93.1%	95.8%	88.9%	77.4%	76.7%	75.7%	75.2%	
医業収支比率(%)	60.0%	63.1%	51.0%	63.4%	50.0%	48.9%	48.2%	
修正医業収支比率(%)	56.1%	59.3%	45.5%	56.3%	53.0%	51.7%	50.7%	
(2) 経費削減に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
材料費対医業収益比率(%)	16.9%	14.5%	21.5%	14.4%	19.8%	19.6%	19.5%	
委託費対医業収益比率(%)	12.3%	10.8%	10.7%	12.0%	11.0%	11.0%	11.0%	
職員給与費対医業収益比率(%)	87.9%	90.2%	100.0%	85.6%	115.6%	118.4%	121.4%	
減価償却費対医業収益比率(%)	17.9%	16.0%	18.6%	16.3%	19.2%	19.0%	18.9%	
後発医薬品の使用割合(%)	33.5%	61.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	60.0%	
(3) 収入確保に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
新入院患者数(人)	141	135	144	134	134	134	134	
1日当たり入院患者数(人)	6.1	7.3	7.5	7.4	7.3	7.2	7.1	
1日当たり外来患者数(人)	54.2	57.2	58.4	57.0	56.7	56.5	56.3	
入院患者1人1日当たり診療収入(円)	16,024	15,899	16,223	15,900	15,900	15,900	15,900	
外来患者1人1日当たり診療収入(円)	7,297	7,334	7,240	7,334	7,334	7,334	7,334	
病床稼働率(%) <全体>	32.1	38.7	39.4	39.0	38.6	38.2	37.7	
病床利用率(%) <全体>	30.2	36.6	37.3	37.1	36.5	36.1	35.6	
平均在院日数(日) <一般病床>	15.2	18.5	17.6	18.5	18.5	18.5	18.5	
(4) 経営の安定性に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
医師数(人)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
現金保有残高(千円)	75,540	84,711	▲ 44,000	▲ 48,000	▲ 52,000	▲ 57,000	▲ 54,000	▲は基幹病院からの借入金
企業債残高(千円)	105,966	101,962	88,943	88,080	70,109	56,229	42,259	

### (2) 経常収支比率に係る目標設定の考え方

- 基幹病院と附属診療所、地域病院の役割・機能分担を図りながら、一体的な運営に努め、五島地域全体での経常収支黒字の維持を目指します。

### (3) 目標達成に向けた主な取組

#### ① 民間的経営手法の導入

- 医事業務のアウトソーシングによる患者サービス向上と査定減対策の推進（毎年度実施）
- DPCベンチマークシステムを活用した経営分析（毎年度実施）

#### ② 事業規模・事業形態の見直し

- DPC導入による医療の質の向上（毎年度実施）
- 病床ダウンサイジングの検討（令和3年度から検討開始）



### ③経費削減・抑制対策

- 後発医薬品の採用・使用促進（毎年度実施）
- 建設改良費の平準化（毎年度実施）

### ④収入増加・確保対策

- 地域包括ケア病棟の病床利用率の向上（毎年度実施）
- 施設基準の見直し及び査定減の減少（毎年度実施）
- 初期、早期リハビリテーションの実施（毎年度実施）
- 健診・人間ドック等の受け入れ推進（毎年度実施）
- 多職種、介護連携による退院時共同指導、介護支援連携指導の推進（毎年度実施）
- 認知症ケア加算3の取得（令和4年度）
- 外来化学療法加算1の取得（令和4年度）

### ⑤その他

- 新型コロナウイルス感染症等入院医療体制の整備（毎年度実施）
- 看護師・薬剤師の確保対策（毎年度実施）
- 看護師の人材育成（毎年度実施）
- 医師事務作業補助者の活用による医師の負担軽減（毎年度実施）
- 五島地域病院の職員採用の一元化（期間中に検討）
- 未収金防止対策（毎年度実施）

## 3 再編・ネットワーク化

### (1) 二次医療圏内の病院等配置状況（有床）

- 五島圏域における医療機能ごとの病床の状況（2018年7月1日時点）

五島圏域計 急性期 317 床、回復期 100 床、慢性期 73 床、休棟中 39 床、

郡家病院（回復期 50 床）、聖マリア病院（急性期 45 床、慢性期 54 床）、長崎県五島中央病院（急性期 180 床、回復期 50 床）、長崎県富江病院（急性期 55 床）、浦クリニック（慢性期 19 床）、ダケ眼科クリニック（急性期 8 床）、長崎県五島中央病院附属診療所奈留医療センター（急性期 19 床）、福江産婦人科医院（急性期 10 床）、松尾整形外科（休棟中 17 床）、松本耳鼻咽喉科（休棟中 4 床）、山田医院（休棟中 18 床）

### (2) 再編・ネットワーク化計画

- 五島圏域における救急医療体制を含めた急性期病床について関係機関と協議していく。（期間中に実施）

## 富江病院の取組

### 1 地域医療構想を踏まえた役割の明確化

#### (1) 病院の果たすべき役割

- 富江地区における地域病院として、救急医療にも対応するとともに、地域包括ケア病床の充実。
- 基幹病院や介護施設などの連携を強化し、在宅医療の充実
- 五島市と連携して、特定健診及びがん健診の受診率向上
- 新型コロナウイルス等の感染症に対しての検査体制の強化
- 地域包括ケア病床の充実を図り、急性期から回復期への機能転換の推進（ただし、病床数や機能についてのあり方については、人口や患者数の推移などの医療需要を考慮し、地域医療構想調整会議での議論状況を確認しながら対応する。）

#### (2) 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割

- 基幹病院・五島医師会・介護施設との連携
- 在宅医療の充実
- リハビリテーション及び摂食・嚥下訓練の充実

#### (3) 医療機能等指標に係る数値目標

(1)医療機能・医療品質に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
救急患者数(人)	667	689	680	680	680	680	680	
（再掲）救急車等による患者数(人)	82	82	80	80	80	80	80	
手術件数(件)	40	23	30	30	30	30	30	
臨床研修医の受入件数(件)	15	22	10	20	20	20	20	
紹介率(%)	36	27	30	30	30	30	30	
逆紹介率(%)	22	11	20	20	20	20	20	
訪問診療・看護件数(件)	769	749	750	750	750	750	750	
在宅復帰率(%)			80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	
リハビリ件数(件)	29	89	85	85	85	85	85	
(2)その他	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
患者満足度(%)	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%	
健康・医療相談件数(件)	1,478件	971件	2,000件	2,000件	2,000件	2,000件	2,000件	

#### (4) 住民の理解を得るための取組

- 広報誌「みじよか」の充実。
- 患者アンケートの実施。
- 乗り合いタクシーへの診療時間の考慮。

## 2 経営の効率化

### (1) 経営指標に係る数値目標

(1) 収支改善に係るもの	H30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度計画	R4年度計画	R5年度計画	R6年度計画	備考
経常収支比率(%)	117.1	122.0	110.0	99.9	107.5	108.3	111.0	
医業収支比率(%)	97.5	103.8	85.7	83.3	91.5	92.6	94.9	
修正医業収支比率(%)	101.6	108.7	90.2	93.6	98.2	98.6	100.9	
(2) 経費削減に係るもの	H30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度計画	R4年度計画	R5年度計画	R6年度計画	備考
材料費対医業収益比率(%)	12.5	11.6	15.0	13.8	12.1	12.0	12.1	
委託費対医業収益比率(%)	3.6	3.8	3.7	3.8	3.7	3.7	3.7	
職員給与費対医業収益比率(%)	68.7	63.8	70.6	80.2	68.4	68.2	65.9	
減価償却費対医業収益比率(%)	7.8	7.5	8.3	9.0	6.0	5.2	4.8	
後発医薬品の使用割合(%)	67.3	71.1	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	
(3) 収入確保に係るもの	H30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度計画	R4年度計画	R5年度計画	R6年度計画	備考
新入院患者数(人)	699.0	570.0	570.0	570.0	570.0	570.0	570.0	
1日当たり入院患者数(人)	50.2	52.3	52.0	50.0	50.0	50.0	50.0	
1日当たり外来患者数(人)	67.8	71.6	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	
入院患者1人1日当たり診療収入(円)	24,901.0	26,293.0	25,495.0	25,495.0	25,495.0	25,495.0	25,495.0	
外来患者1人1日当たり診療収入(円)	6,873.0	7,021.0	7,100.0	7,100.0	7,100.0	7,100.0	7,100.0	
病床稼働率(%) <全体>	91.3	95.1	94.5	90.9	90.9	90.9	90.9	
病床利用率(%) <全体>	87.8	92.3	91.7	89.9	89.9	89.9	89.9	
(再掲)病床利用率(%) <DPC・急性期入院>			88.0	84.0	84.0	84.0	84.0	
(再掲)病床利用率(%) <地域包括ケア・回復リハ>			98.0	98.0	98.0	98.0	98.0	
平均在院日数(日) <一般病床>	25.3	32.8	32.0	32.0	32.0	32.0	32.0	
(再掲)平均在院日数(日) <DPC・急性期入院>			21.0	21.0	21.0	21.0	21.0	
(再掲)平均在院日数(日) <地域包括ケア・回復リハ>			45.0	45.0	45.0	45.0	45.0	
(4) 経営の安定性に係るもの	H30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度計画	R4年度計画	R5年度計画	R6年度計画	備考
医師数(人)	3.0	2.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
現金保有残高(千円)	659,089	675,844	800,615	862,262	956,519	1,052,934	1,165,583	
企業債残高(千円)	136,870	73,600	54,800	39,000	35,000	30,000	24,000	

### (2) 経常収支比率に係る目標設定の考え方

- 基幹病院と附属診療所、地域病院の役割・機能分担を図りながら、一体的な運営に努め、五島地域全体での経常収支黒字の維持を目指します。

### (3) 目標達成に向けた主な取組

#### ① 事業規模・事業形態の見直し

- 地域医療構想調整会議の状況により検討

#### ② 経費削減・抑制対策

○ 後発医薬品の使用促進 … (令和2年度以降)

○ 高額医療機器共同購入

③収入増加・確保対策

○ 診療報酬施設基準の維持 … (令和2年度以降)

○ 診療報酬査定減の減少 … (令和2年度以降)

○ 健康診断及び予防接種の増加 … (令和2年度以降)

④その他

○ 感染症予防の強化 … (令和2年度以降)

○ 接遇の向上、患者サービスの充実 … (令和2年度以降)

○ 防犯、防火、防災への強化 … (令和2年度以降)

3 再編・ネットワーク化

(1) 二次医療圏内の病院等配置状況 (民間含む)

○ 公立病院2 民間病院2 公立診療所3 民間診療所6

(2) 再編・ネットワーク化計画 (時期・内容)

○ 人口や患者数の推移などの医療需要を考慮し、五島地区の他の3病院の状況も確認しながら柔軟に対応したい。

#### 4 上五島地域の取組方針

- 地域の医療ニーズに合った病床機能への転換を行うとともに、基幹病院と附属診療所のそれぞれの医療機能の特徴を活かし、地域に信頼される安定的でより良い医療を提供します。
- 医療技術修学資金貸付制度を活用した医療従事者の計画的な確保と高度な専門知識・技術を有する人材の育成に努めます。
- 患者のニーズを汲み取り、患者の目線に立ったサービスの向上に取り組みます。
- 建物の老朽化に伴い、新病院建設に向けた取り組みとして、新病院建設事業計画に着手し、長期的な収支シミュレーションや設計・施工の発注手法、経営形態の方向性についてまとめます。

#### 上五島病院(附属診療所有川医療センター、附属診療所奈良尾医療センター含む)の取組

##### 1 地域医療構想を踏まえた役割の明確化

###### (1) 病院の果たすべき役割

- 上五島医療圏で唯一の入院機能を有する中核病院として、急性期、小児・周産期、精神、救急、災害、へき地医療の提供
- 後方支援病院、附属診療所、関係施設等との連携構築
- 在宅療養支援病院として地域医療連携室を中心とした在宅医療の強化
- 臨床研修病院として、研修医や医学生等を積極的に受入れ、地域医療を担う人材の育成
- 附属診療所における、計画的な訪問診療及び健診等による住民の健康管理

###### (2) 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割

- 行政、他医療機関、介護施設等との連携体制の構築
- 他医療機関・介護福祉施設及び地域住民からの相談業務
- 現状分析及び介護ニーズの把握及び情報発信
- 多職種間のコミュニケーションやスキルアップを目的とした教育の支援

(3) 医療機能等指標に係る数値目標

【上五島病院】

(1)医療機能・医療品質に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
救急患者数(人)	5,458	5,527	5,491	5,491	5,491	5,491	5,491	
(再掲)救急車等による患者数(人)	753	809	723	723	723	723	723	
手術件数(件)	543	654	605	605	605	605	605	
臨床研修医の受入件数(件)	0	1	2	2	3	3	3	
医師派遣等件数(件)	593	624	537	537	537	537	537	
紹介率(%)	17.5	17.7	16.9	16.9	16.9	16.9	16.9	
逆紹介率(%)	11.2	14.3	11.5	11.5	11.5	11.5	11.5	
訪問診療・看護件数(件)	4,037	3,585	3,607	3,607	3,607	3,607	3,607	
在宅復帰率(%)	77.0	79.3	82.3	82.3	82.3	82.3	82.3	
リハビリ件数(件)	51,202	50,018	45,281	45,281	45,281	45,281	45,281	
分娩件数(件)	89	57	93	93	93	93	93	
クリニカルパス件数(件)	491	534	535	535	535	535	535	
(2)その他	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
患者満足度(%)	96.2	96.5	91.6	91.6	91.6	91.6	91.6	
健康・医療相談件数(件)	11,486	11,677	11,880	11,880	11,880	11,880	11,880	

【有川医療センター】

(1)医療機能・医療品質に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
医師派遣等件数(件)	149	140	114	95	98	97	99	
紹介率(%)	0.6%	3.8%	3.8%	3.8%	3.8%	3.8%	3.8%	
逆紹介率(%)	6.5%	8.6%	8.6%	8.6%	8.6%	8.6%	8.6%	
訪問診療・看護件数(件)	57	79	79	79	79	79	79	
リハビリ件数(件)	1,724	1,442	1,442	1,442	1,442	1,442	1,442	
(2)その他	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
患者満足度(%)	96.2%	78.4%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	90.0%	
健康・医療相談件数(件)	6,864	6,962	6,962	6,962	6,962	6,962	6,962	

【奈良尾医療センター】

(1)医療機能・医療品質に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
紹介率(%)	3.1%	2.8%	2.6%	2.6%	2.6%	2.6%	2.6%	
逆紹介率(%)	7.0%	7.5%	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%	8.0%	
訪問診療・看護件数(件)	864	986	960	960	960	960	960	月80件
リハビリ件数(件)	2,455	2,165	2,140	2,140	2,140	2,140	2,140	平均9.2単位
(2)その他	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
患者満足度(%)	83.0%	83.8%	84.0%	84.0%	84.0%	84.0%	84.0%	
健康・医療相談件数(件)	3,476件	3,334件	3,300件	3,300件	3,300件	3,300件	3,300件	健診1800 予防1500

(4) 住民の理解を得るための取組

- 行政・介護・福祉との連携や在宅医療を支援します。
- 病院運営協議会、病院フェスタの開催、ホームページ、SNSを利用した地域への積極的な情報発信、地域住民活動への参加を行います。

2 経営の効率化

(1) 経営指標に係る数値目標

【上五島病院】

(1) 収支改善に係るもの	H30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度計画	R4年度計画	R5年度計画	R6年度計画	備考
経常収支比率(%)	93.8	96.8	100.6	98.0	97.9	98.3	98.0	
医業収支比率(%)	86.0	90.3	85.4	87.7	90.4	89.3	88.6	
修正医業収支比率(%)	96.1	100.3	94.1	95.3	98.9	98.4	97.7	
(2) 経費削減に係るもの	H30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度計画	R4年度計画	R5年度計画	R6年度計画	備考
材料費対医業収益比率(%)	23.4	21.1	21.9	21.9	21.4	21.4	21.4	
委託費対医業収益比率(%)	3.6	3.5	5.7	5.7	5.6	5.6	5.6	
職員給与費対医業収益比率(%)	64.4	63.4	67.7	66.7	64.2	64.4	65.4	
減価償却費対医業収益比率(%)	11.2	10.3	9.9	8.5	8.6	9.7	9.7	
後発医薬品の使用割合(%)	87.2	90.9	91.0	91.0	91.0	91.0	91.0	
(3) 収入確保に係るもの	H30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度計画	R4年度計画	R5年度計画	R6年度計画	備考
新入院患者数(人)	2,828	2,906	2,920	2,634	2,634	2,623	2,634	
1日当たり入院患者数(人)	140.4	148.0	150.0	150.0	150.0	150.0	150.0	
1日当たり外来患者数(人)	493.2	513.3	512.0	508.0	508.0	508.0	508.0	
入院患者1人1日当たり診療収入(円)	37,273	38,649	38,891	39,710	39,710	39,710	39,710	
外来患者1人1日当たり診療収入(円)	9,352	9,232	9,400	9,450	9,450	9,450	9,450	
病床稼働率(%) <全体>	75.5	79.6	80.6	80.6	80.6	80.6	80.6	
(再掲)病床稼働率(%) <DPC・急性期入院>	76.7	79.1	80.9	81.7	81.7	81.7	81.7	
病床利用率(%) <全体>	71.3	75.3	81.6	76.4	76.4	76.5	76.4	
(再掲)病床利用率(%) <DPC・急性期入院>	71.7	74.3	75.8	76.7	76.7	76.8	76.7	
(再掲)病床利用率(%) <地域包括ケア・回復リハ>	70.2	78.2	77.2	75.8	75.8	75.8	75.8	
平均在院日数(日) <全体>	17.1	17.7	13.1	18.9	18.9	19.0	18.9	
(再掲)平均在院日数(日) <DPC・急性期入院>	13.7	14.2	13.4	14.4	14.4	14.5	14.4	
(再掲)平均在院日数(日) <地域包括ケア・回復リハ>	56.5	48.4	27.6	55.5	55.5	55.5	55.5	
(4) 経営の安定性に係るもの	H30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度計画	R4年度計画	R5年度計画	R6年度計画	備考
医師数(人)	19	20	22.0	22.0	22.0	22.0	22.0	
現金保有残高(千円)	1,284,797	1,260,924	1,328,795	1,348,699	1,381,113	1,385,901	1,352,035	
企業債残高(千円)	324,900	267,680	147,860	487,000	854,040	635,080	436,540	

## 【有川医療センター】

(1) 収支改善に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
経常収支比率(%)	107.1	102.0	101.0	109.4	110.2	110.0	109.4	
医業収支比率(%)	103.1	97.7	94.7	101.9	102.7	102.7	102.1	
修正医業収支比率(%)	116.7	112.2	109.5	114.1	114.4	114.1	113.7	
(2) 経費削減に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
材料費対医業収益比率(%)	20.4	17.8	18.8	17.6	17.8	17.8	17.8	
委託費対医業収益比率(%)	2.2	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	
職員給与対医業収益比率(%)	51.8	58.0	59.1	55.9	54.1	54.1	54.3	
減価償却費対医業収益比率(%)	9.3	10.1	10.6	8.4	7.9	7.9	8.1	
後発医薬品の使用割合(%)	72.1	73.6	75.0	76.0	77.0	78.0	79.0	
(3) 収入確保に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
1日当たり外来患者数(人)	132.7	134.8	137.2	137.3	137.2	137.2	137.2	
外来患者1人1日当たり診療収入(円)	10,852.7	10,196.1	10,131.9	10,144.1	10,131.9	10,131.9	10,131.9	
(4) 経営の安定性に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
医師数(人)	1.7	2.7	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	
現金保有残高(千円)	316,814	348,575	433,575	476,575	540,575	602,575	664,575	
企業債残高(千円)	34,600	30,000	23,000	26,000	28,000	28,000	29,000	

## 【奈良尾医療センター】

(1) 収支改善に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
経常収支比率(%)	80.7%	89.1%	88.7%	91.2%	95.2%	96.8%	98.9%	
医業収支比率(%)	73.2%	81.6%	74.0%	77.5%	79.8%	81.5%	83.3%	
修正医業収支比率(%)	89.1%	94.1%	84.3%	90.6%	88.8%	90.4%	92.0%	
(2) 経費削減に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
材料費対医業収益比率(%)	18.6%	20.6%	20.7%	20.0%	22.0%	22.0%	22.0%	
委託費対医業収益比率(%)	6.1%	2.5%	3.4%	3.4%	3.4%	3.4%	3.4%	
職員給与対医業収益比率(%)	79.5%	68.1%	74.5%	75.5%	70.7%	68.0%	66.7%	
減価償却費対医業収益比率(%)	14.4%	13.8%	15.2%	11.0%	10.0%	9.3%	8.7%	
後発医薬品の使用割合(%)	76.8%	71.7%	75.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	
(3) 収入確保に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
1日当たり外来患者数(人)	93.7	97.0	96.0	96.0	96.0	96.0	96.0	
外来患者1人1日当たり診療収入(円)	5,777	5,891	5,573	5,596	5,573	5,573	5,573	
(4) 経営の安定性に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
医師数(人)	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	
現金保有残高(千円)	29,282	12,660	0	▲ 29,001	▲ 37,298	▲ 43,894	▲ 46,365	
企業債残高(千円)	132,169	105,020	83,793	77,327	71,242	63,138	54,785	



(2) 経常収支比率に係る目標設定の考え方

- 人口減による患者数の減少が予想されるが高齢者人口は微減であり、地域外患者流出の抑制等を図り、患者数等の現状維持を目標に、2 附属診療所を含め、経常収支黒字化を目指します。

(3) 目標達成に向けた主な取組

①事業規模・事業形態の見直し

- 地域医療構想に沿った病床規模への見直し

②経費削減・抑制対策

- 評価基準に基づく適切な後発医薬品の採用・使用促進（毎年度）
- 省エネ意識の啓発や電球のLED化などによる光熱水費の節減（毎年度）

③収入増加・確保対策

- 適正な病床利用の推進（毎年度）
- 診療報酬施設基準（加算）の取得・維持（毎年度）
- 診療報酬請求漏れ防止及び算定率向上（毎年度）
- 未収金対策の推進（毎年度）

④その他

- 看護師の確保対策（毎年度）
- 電子カルテによる医療の質の向上、セキュリティー対策の推進（毎年度）
- 個人情報保護の取組強化（毎年度）

3 再編・ネットワーク化

(1) 二次医療圏内の病院等配置状況（有床）

長崎県上五島病院（186床）、小値賀国民健康保険診療所（17床）、長崎県上五島病院附属診療所有川医療センター（無床）、長崎県上五島病院附属診療所奈良尾医療センター（無床）、新魚目国民健康保険診療所（無床）、国民健康保険榎津診療所（無床）、若松国民健康保険診療所（無床）

(2) 再編・ネットワーク化計画

- 令和元年8月に療養病棟（50床）の全部を地域包括ケア病床へ転換しました。今後は一般病床から地域包括病床への転換を検討していきます。
- また、平成28年度から地域包括ケアシステムの構築のための在宅医療の推進にあたり、在宅医療・介護連携支援センターへの運営協力（新上五島町役場主体）、あじさいネットを利用した情報共有を進めます。

## 5 対馬地域の取組方針

- 対馬で最期まで安心して生活できる医療環境の構築に努めます。

地域住民の信頼に応え、地域の中核的病院の役割を担うため、島内の病院は長崎県対馬病院と長崎県上対馬病院の2つのみであり、この2病院が連携を強化し、高度で良質な医療の提供を行う病院を目指します。
- 医療ネットワークシステムの構築に努めます。

あじさいネットの導入により、医療情報を共有し、病診連携及び介護施設や院外薬局との連携を推進し、島内全域に医療・介護サービスを届けるシステム構築に努めます。
- 医療従事者の確保に努めます。

対馬地域は、特に島の面積が大きく、離れた集落が点在しているため、地域で総合医療を担う医師の役割が大きいため、その確保が必要です。また、少子化対策として産婦人科医及び小児科医の複数体制の維持を図るほか、高齢化でさらに需要が伸びると思われる泌尿器科の充実や認知症の対応に努めます。

対馬病院で継続されている医療系の学生を対象としたワークショップや看護学生を対象としたインターンシップの定期的な開催や医療技術修学資金を活用した人材確保に努めます。

### 対馬病院の取組

- 1 地域医療構想を踏まえた役割の明確化
  - (1) 病院の果たすべき役割
    - 対馬医療圏の中核病院として、急性期、小児・周産期、精神、救急、災害、へき地医療など、質の高い島内完結の医療の提供
    - 自立支援に向けた急性期及び維持期のリハビリテーション提供のほか、地域リハビリテーション広域支援センターとして、地域関係者の研修会等の実施
    - 後方支援病院、診療所、関係施設との連携構築
    - 地域医療連携室を中心とした在宅医療の強化
    - 地域医療を担う人材育成のため、医師等医療従事者の研修受入体制の整備
    - あじさいネットの活用により、医療情報を共有し、更なる病診連携及び介護施設や院外薬局との連携を推進し、島内全域に医療・介護サービスを届けるシステムの構築
  - (2) 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割
    - 高齢化による認知症の増加に伴い、地域医療連携室を中心とした医療と介護の連携強化や行政の関わりによる支援体制の構築
    - 訪問看護及び訪問リハビリ提供体制の強化

○ 自立支援の提供体制として、通所（維持期）リハビリテーションの強化

（３）医療機能等指標に係る数値目標

(1)医療機能・医療品質に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
救急患者数(人)	8,845	7,997	7,997	7,997	7,997	7,997	7,997	
（再掲）救急車等による患者数(人)	1,351	1,256	1,256	1,256	1,256	1,256	1,256	
手術件数(件)	1,011	996	940	940	940	940	940	
臨床研修医の受入件数(件)	18	13	8	15	18	18	18	
医師派遣等件数(件)	554	406	650	650	650	650	650	
紹介率(%)	21.0	23.7	24.6%	24.6%	24.6%	24.6%	24.6%	
逆紹介率(%)	21.1	24.3	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	
訪問診療・看護件数(件)	830	658	736	736	736	736	736	
在宅復帰率(%)	80.5%	78.9%	77.0%	77.0%	77.0%	77.0%	77.0%	
リハビリ件数(件)	63,596	58,014	56,768	56,768	56,768	56,768	56,768	
分娩件数(件)	171	162	159	159	159	159	159	
クリニカルパス件数(件)	981	947	947	947	947	947	947	
(2)その他	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
患者満足度(%)	84.0	82.0	85.0	85.0	85.0	85.0	85.0	
健康・医療相談件数(件)	7,955	8,251	8,251	8,251	8,251	8,251	8,251	

（４）住民の理解を得るための取組

- 地域住民に身近な病院として信頼を得る目的で「ふれあいフェスタ」を継続します。
- 広報誌「いしやね」により診療情報の周知を行い、住民との信頼関係を構築します。
- ケーブルテレビを利用した医療講座の放映により、医療に対する理解を深めます。

## 2 経営の効率化

### (1) 経営指標に係る数値目標

(1) 収支改善に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
経常収支比率(%)	91.0	93.4	97.1	97.5	100.3	101.1	101.2	
医業収支比率(%)	80.2	83.3	82.2	86.6	88.4	89.4	89.3	
修正医業収支比率(%)	93.4	97.5	95.3	97.0	99.6	99.7	99.5	
(2) 経費削減に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
材料費対医業収益比率(%)	20.8	20.4	22.5	22.1	17.9	17.9	17.9	
委託費対医業収益比率(%)	8.1	7.6	7.8	13.1	7.2	7.2	7.2	
職員給与費対医業収益比率(%)	70.3	68.5	68.1	63.9	67.4	67.4	67.5	
減価償却費対医業収益比率(%)	15.2	14.3	14.2	18.4	11.7	10.5	10.4	
後発医薬品の使用割合(%)	88.1	89.9	89.9	89.9	89.9	89.9	89.9	
(3) 収入確保に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
新入院患者数(人)	3,742	3,796	3,474	3,795	3,738	3,748	3,738	
1日当たり入院患者数(人)	201.8	214.7	204.2	215.0	207.8	207.8	207.8	
1日当たり外来患者数(人)	691.4	677.8	623.5	372.2	660.7	660.7	660.7	
入院患者1人1日当たり診療収入(円)	37,734	37,775	40,486	40,628	40,157	40,157	40,157	
外来患者1人1日当たり診療収入(円)	8,398	8,677	9,411	9,461	9,414	9,414	9,414	
病床稼働率(%) <全体>	73.4	78.1	74.2	75.6	75.6	75.6	75.6	
(再掲) 病床稼働率(%) <DPC・急性期入院>	68.9	77.4	74.9	74.9	74.9	74.9	74.9	
病床利用率(%) <全体>	69.6	74.3	71.9	71.9	71.9	71.9	71.9	
(再掲) 病床利用率(%) <DPC・急性期入院>	64.0	72.8	70.4	70.4	70.4	70.4	70.4	
(再掲) 病床利用率(%) <地域包括ケア・回復リハ>	80.7	78.9	75.9	75.9	75.9	75.9	75.9	
(再掲) 病床利用率(%) <精神>	80.0	80.6	79.5	79.5	79.5	79.5	79.5	
(再掲) 病床利用率(%) <療養>	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
平均在院日数(日) <一般病床>	15.6	16.6	16.3	16.3	16.3	16.3	16.3	
(再掲) 平均在院日数(日) <DPC・急性期入院>	12.0	13.5	13.1	13.1	13.1	13.1	13.1	
(再掲) 平均在院日数(日) <地域包括ケア・回復リハ>	28.5	22.4	22.6	22.6	22.6	22.6	22.6	
(再掲) 平均在院日数(日) <精神>	113.1	140.5	129.8	129.8	129.8	129.8	129.8	
(4) 経営の安定性に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
医師数(人)	31.5	30.8	32.0	35.0	35.0	35.0	35.0	
現金保有残高(千円)	873,601	1,010,193	1,045,930	1,573,624	1,910,819	2,216,366	2,471,484	
企業債残高(千円)	3,899,021	3,868,229	3,688,155	4,103,843	3,809,500	3,499,888	3,185,686	

### (2) 経常収支比率に係る目標設定の考え方

- 地域の中核病院として、急性期、小児・周産期、精神、救急、災害、へき地医療をはじめとした病院機能の役割を果たすため、人口減による患者数の減少が予想されるが患者確保に努め、経常収支黒字化とその維持を目指します。

### (3) 目標達成に向けた主な取組

#### ①民間的経営手法の導入

- 医事業務の委託化による経営の効率化

#### ②経費削減・抑制対策

- 診療材料「MRP ベンチマークシステム」継続等 (期間中)

- 委託料の見直し (期間中)

#### ③収入増加・確保対策

- 入院収益増加対策 (毎年度)

- 外来収益増加対策 (毎年度)

#### ④その他

- 未利用資産の売却・活用 (期間中)

### 3 再編・ネットワーク化

#### (1) 二次医療圏内の病院等配置状況 (有床)

- 公立病院 2

#### (2) 再編・ネットワーク化計画

- 病院の再編については、平成27年5月に対馬いづはら病院と中対馬病院の統合により一定終了しています。
- また、ネットワーク化計画については、地域包括ケアシステム構築のためにも、医師、看護師、薬剤師及び介護関係者等、患者に関わる多職種が迅速に情報を共有し、切れ目のない支援を行うことが不可欠であり、「あじさいネット」の導入(平成28年度)により情報提供病院となり、地域の診療所、介護施設等と情報共有ネットワークによる連携を推進します。

### 上対馬病院の取組

#### 1 地域医療構想を踏まえた役割の明確化

##### (1) 病院の果たすべき役割

- 対馬医療圏の北部地区唯一の地域病院として、救急医療、急性期から慢性期にわたる医療、へき地医療の提供
- 訪問看護ステーション、通所リハビリテーションを併設、在宅医療を支援

##### (2) 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割

- 地域の中核病院と連携した在宅医療システムの構築

○ 行政との連携を強化し、地域住民の健診事業を実施

(3) 医療機能等指標に係る数値目標

(1) 医療機能・医療品質に係るもの	H30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度計画	R4年度計画	R5年度計画	R6年度計画	備考
救急患者数(人)	1,289	1,311	1,292	1,292	1,292	1,292	1,292	
(再掲)救急車等による患者数(人)	244	203	200	200	200	200	200	
臨床研修医の受入件数(件)	0	0	2	2	2	2	2	
医師派遣等件数(件)	49	50	50	50	50	50	50	
紹介率(%)	37.7%	38.1%	42.2%	42.2%	42.2%	42.2%	42.2%	
訪問診療・看護件数(件)	1,488	819	1,419	1,419	1,419	1,419	1,419	
リハビリ件数(件)	13,447	12,035	10,425	10,425	10,425	10,425	10,425	
(2) その他	H30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度計画	R4年度計画	R5年度計画	R6年度計画	備考
患者満足度(%)		77.7%	80.0%	82.0%	84.0%	86.0%	86.0%	
健康・医療相談件数(件)	249	252	268	268	268	268	268	

(4) 住民の理解を得るための取組

- 地域情報誌による特別診療や健康診断、予防接種の案内、並びに病気や住民の健康に関する医療情報を提供し、住民との信頼関係を構築します。

2 経営の効率化

(1) 経営指標に係る数値目標

(1) 収支改善に係るもの	H30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度計画	R4年度計画	R5年度計画	R6年度計画	備考
経常収支比率(%)	98.1	94.3	96.0	91.7	95.7	97.6	101.1	
医業収支比率(%)	78.3	75.4	72.7	70.3	79.2	81.5	84.3	
修正医業収支比率(%)	83.9	79.5	75.9	77.0	86.3	88.9	91.8	
(2) 経費削減に係るもの	H30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度計画	R4年度計画	R5年度計画	R6年度計画	備考
材料費対医業収益比率(%)	14.7	15.7	15.8	18.3	13.2	12.8	12.5	
委託費対医業収益比率(%)	5.6	5.8	7.1	8.2	5.8	5.7	5.5	
職員給与対医業収益比率(%)	82.1	87.9	86.5	86.9	80.4	78.0	75.5	
減価償却費対医業収益比率(%)	13.4	10.5	9.7	11.7	10.2	10.1	9.4	
後発医薬品の使用割合(%)	72.9	74.4	75.9	77.4	78.9	80.4	81.9	
(3) 収入確保に係るもの	H30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度計画	R4年度計画	R5年度計画	R6年度計画	備考
新入院患者数(人)	606.0	588.0	564.0	564.0	564.0	565.0	564.0	
1日当たり入院患者数(人)	40.0	35.1	32.7	36.7	37.9	37.9	37.9	
1日当たり外来患者数(人)	120.5	119.6	110.7	115.0	115.4	115.4	115.4	
入院患者1人1日当たり診療収入(円)	26,716.0	26,920.0	27,608.0	27,054.0	27,870.0	28,710.0	29,570.0	
外来患者1人1日当たり診療収入(円)	9,146.0	9,495.0	9,472.0	9,535.0	9,820.0	10,110.0	10,410.0	
病床稼働率(%) <全体>	66.7	58.3	63.2	63.2	63.2	63.2	63.2	
(再掲)病床稼働率(%) <DPC・急性期入院>	66.7	58.3	63.2	63.2	63.2	63.2	63.2	
病床利用率(%) <全体>	63.9	55.6	60.6	60.6	60.6	60.6	60.6	
(再掲)病床利用率(%) <DPC・急性期入院>	63.9	55.6	60.6	60.6	60.6	60.6	60.6	
平均在院日数(日) <一般病床>	23.1	20.9	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0	
(再掲)平均在院日数(日) <DPC・急性期入院>	23.1	20.9	21.0	21.0	21.0	21.0	21.0	
(4) 経営の安定性に係るもの	H30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度計画	R4年度計画	R5年度計画	R6年度計画	備考
医師数(人)	5.0	4.0	3.0	4.0	4.0	4.0	4.0	
現金保有残高(千円)	305,388	294,196	274,196	212,196	182,196	177,196	184,196	
企業債残高(千円)	237,837	233,481	293,642	247,566	206,076	170,165	136,418	

(2) 経常収支比率に係る目標設定の考え方

- 現在の医療機能は当面の間は維持しないと地域の医療に支障をきたす。
- 令和2年度見込みから、診療単価について年3%増を実施し、令和6年度に経常収支比率の黒字化を目指す。

(3) 目標達成に向けた主な取組

①経費削減・抑制対策

- 後発医薬品の導入推進
- 診療材料等の一元管理
- 光熱水費の削減

②収入増加・確保対策

- 病床利用率の維持・管理
- 医業収益(施設基準の確保)
- 診療報酬請求の適正化
- 午後外来の拡張
- 未収金対策の推進

③その他

- 医療の質の向上
- 医療従事者の確保

3 再編・ネットワーク化

(1) 二次医療圏内の病院等配置状況(有床)

- 対象地域には、無床診療所が2ヶ所と兼任診療所が4ヶ所あるだけで、当院は唯一の病院である。当院から自家用車で1時間30分のところに、対馬病院があります。

(2) 再編・ネットワーク化計画

- 平成28年度から平成30年度の3年間は病床利用率70%を近かったが、令和元年度は60%を下回っていることや、現在の人口は約6,600人で毎年減少傾向であることから、縮小していく人口や患者数の推移など医療需要を見極め、地域に必要な医療を継続するために、病院規模など効率的な医療提供体制の構築を目指す。

## 6 壱岐病院の取組方針

- 医師・看護師等医療従事者の確保をはじめ、病院全体で医療提供体制の改善に取り組み、医療の質の向上、医療の安全、患者サービスの改善を推進します。
- 今後の医療需要等を見極め、病棟体制・病床数、外来診療体制の見直しを検討するとともに、地域包括ケアシステム構築に向けて、島内の医療ネットワークの充実に努めます。
- 患者受入体制の強化による病床利用率の向上と収益の増加・経費削減対策に取り組み、経営健全化の推進を図ります。
- 若い医師を育成する体制の整備や職員研修の充実に努め、将来を担う人材を育成します。

### 壱岐病院の取組

#### 1 地域医療構想を踏まえた役割の明確化

##### (1) 病院の果たすべき役割

- 壱岐医療圏の基幹病院として、二次医療をはじめ急性期医療を担うとともに島内では対応できない高度医療については島外の医療機関との速やかな連携
- 地域包括ケアシステムの中核を担う病院として、島内の医療・介護等関係機関との連携を構築
- 医師等医療従事者の研修受入体制を整備し、地域医療を担う人材を育成

##### (2) 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割

- 島内の医療・介護等関係機関との連携を強化するとともに、あじさいネットの積極的な活用によるネットワークづくり等、地域包括ケアシステムの構築に向けた調整・支援

##### (3) 医療機能等指標に係る数値目標

(1)医療機能・医療品質に係るもの	H30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度計画	R4年度計画	R5年度計画	R6年度計画	備考
救急患者数(人)	6,070	5,903	5,987	6,000	6,000	6,000	6,000	
(再掲)救急車等による患者数(人)	1,110	1,166	1,070	1,000	1,000	1,000	1,000	
手術件数(件)	557	611	550	550	550	550	550	
臨床研修医の受入件数(件)	45	41	38	38	38	38	38	
医師派遣等件数(件)	0	0	0	5	5	5	5	
紹介率(%)	11.3%	17.0%	13.3%	14.5%	14.5%	14.5%	14.5%	
逆紹介率(%)	15.0%	24.6%	17.8%	19.1%	19.1%	19.1%	19.1%	
訪問診療・看護件数(件)	50	80	60	80	80	80	80	
在宅復帰率(%)	89.5%	84.7%	79.0%	84.0%	84.0%	84.0%	84.0%	
リハビリ件数(件)	24,754	30,382	26,190	27,568	28,395	29,247	30,124	
分娩件数(件)	56	51	43	52	52	52	52	
クリニカルパス件数(件)	63	66	70	70	70	70	70	
(2)その他	H30年度実績	R1年度実績	R2年度見込み	R3年度計画	R4年度計画	R5年度計画	R6年度計画	備考
患者満足度(%)	79.2	87.9	83.6	85.2	86.9	88.7	90.4	
健康・医療相談件数(件)	9,722	10,104	9,417	9,747	10,088	10,441	10,806	



(4) 住民の理解を得るための取組

- 病院機関誌の発行の拡充、病院ホームページや市広報誌のほかケーブルテレビを活用した情報発信等、住民に身近な病院づくりに取り組みます。
- 地域住民とのふれあいの場として病院フェスタの開催に向けた検討を行います。

## 2 経営の効率化

### (1) 経営指標に係る数値目標

(1) 収支改善に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
経常収支比率(%)	98.7	98.2	102.0	100.5	99.2	100.0	100.9	
医業収支比率(%)	89.8	89.4	81.6	90.6	88.6	89.7	90.9	
修正医業収支比率(%)	97.9	97.5	88.4	94.5	93.0	93.1	94.2	
(2) 経費削減に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
材料費対医業収益比率(%)	19.2	20.3	23.4	21.7	20.6	20.6	20.6	
委託費対医業収益比率(%)	7.8	7.6	8.2	8.0	7.9	7.8	7.7	
職員給与費対医業収益比率(%)	65.8	65.3	70.0	66.0	69.2	68.1	67.9	
減価償却費対医業収益比率(%)	9.3	10.1	10.2	5.6	6.3	5.6	5.2	
後発医薬品の使用割合(%)	86.5	89.2	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	
(3) 収入確保に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
新入院患者数(人)	2,388	2,421	2,058	2,446	2,494	2,554	2,616	
1日当たり入院患者数(人)	160.1	158.7	152.8	161.8	162.0	162.0	162.0	
1日当たり外来患者数(人)	347.6	357.0	335.0	358.0	358.0	358.0	358.0	
入院患者1人1日当たり診療収入(円)	33,841	35,077	32,903	32,051	32,408	32,801	33,190	
外来患者1人1日当たり診療収入(円)	9,480	9,807	10,091	9,822	9,940	10,059	10,180	
病床稼働率(%) <全体>	89.9	89.2	88.8	90.0	90.0	91.0	91.0	
(再掲)病床稼働率(%) <DPC・急性期入院>	87.0	87.2	81.8	91.7	91.9	93.3	94.7	
病床利用率(%) <全体>	86.2	85.4	83.7	89.0	89.0	89.5	89.5	
(再掲)病床利用率(%) <DPC・急性期入院>	81.9	81.9	82.3	88.7	88.7	89.5	90.3	
(再掲)病床利用率(%) <地域包括ケア・回復リハ>	99.2	98.3	97.7	98.8	98.8	98.8	98.8	
(再掲)病床利用率(%) <精神>	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
(再掲)病床利用率(%) <療養>	92.4	89.6	89.4	91.5	91.6	91.6	91.6	
平均在院日数(日) <一般病床>	14.1	13.9	13.0	13.9	13.7	13.5	13.3	
(再掲)平均在院日数(日) <DPC・急性期入院>	10.8	10.6	9.6	10.8	10.6	10.5	10.4	
(再掲)平均在院日数(日) <地域包括ケア・回復リハ>	26.8	26.5	26.2	25.9	25.7	25.5	25.2	
(再掲)平均在院日数(日) <精神>	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
(4) 経営の安定性に係るもの	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 見込み	R3年度 計画	R4年度 計画	R5年度 計画	R6年度 計画	備考
医師数(人)	12.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	13.0	
現金保有残高(千円)	747,094	684,279	752,279	830,279	918,279	1,027,279	1,158,279	
企業債残高(千円)	3,288,872	3,054,539	2,821,910	2,921,332	2,669,993	2,414,467	2,186,042	

(2) 経常収支比率に係る目標設定の考え方

- 医療の質の向上を図り、できる限り島内で完結できる医療提供体制の整備を進めることとして目標数値を設定しています。

(3) 目標達成に向けた主な取組

① 民間的経営手法の導入

- 委託業務の見直し (令和3年度～)

② 事業規模・事業形態の見直し

- 病院機能・病床数の見直し (令和3年度～)
- 専門外来の見直し (令和3年度～)
- 人工透析充実・機能強化 (期間中に検討、実施)
- がん化学療法の機能強化 (令和3年度～)

③ 経費削減・抑制対策

- 複写機のリース契約の見直し (令和3年度～)
- 院内照明のLED化 (令和3年度～)

④ 収入増加・確保対策

- 療養病棟のレスパイト入院受入 (令和3年度～)
- 専門外来の機能強化 (令和3年度～)
  - ・ フットケア外来 ・ 骨粗しょう症外来 ・ 認知症外来
  - ・ 呼吸器内科外来 ・ ストーマ外来

○ 施設基準の取得

- ・ がん患者リハビリテーション加算
- ・ 医療安全対策加算1
- ・ 抗菌薬適正使用支援加算
- ・ 外来化学療法加算1 (がん化学療法)
- ・ せん妄ハイリスク患者ケア加算
- ・ 褥瘡ハイリスク患者ケア加算

⑤ その他

- 研修医の受入強化 (令和3年度～)
- 政策医療を壱岐市と共に進めていく。

### 3 再編・ネットワーク化

#### (1) 二次医療圏内の病院等配置状況（令和2年5月8日現在）

区 分	施設数	備 考
病院	5	公立病院1、民間病院4、
診療所	15	5/8～ 白川クリニック開院
老健施設	2	
特別養護老人ホーム	3	
その他介護保健施設	3	

#### (2) 再編・ネットワーク化計画

- 今後の人口や患者数の推移など医療需要等を見極めたうえで、病棟体制・病床数のあり方について、関係機関と協議し、検討していきます。

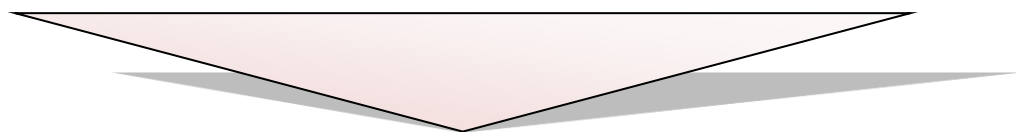
## VIII 進行管理（点検・評価・公表）

- 企業団議会、運営会議及び各地域の運営協議会において、目標の達成状況や進捗を検証・評価し、計画の着実な実行を目指します。また、その結果については、病院企業団ホームページで公表します。
- この第3次中期経営計画は、医療を取り巻く環境の急激な変化や診療報酬の改定等を踏まえ、必要に応じ適宜計画の見直しを実施します。

## IX 全体、各地域及び病院ごとの収支計画

### 収支計画の前提条件

- 平成29年度から令和元年度までは実績を記入
- 令和2年度は決算見込みで作成
- 令和3～6年度は、病院企業団全体の取り組みや各地域・病院ごとの取り組み内容を踏まえて決算ベースで作成



## 計画期間中の収支計画

## 1. 収支計画（収益的収支）

税抜き

（単位：百万円、％）

区分		年度							
		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収	1. 医業収益 a	23,431	23,381	24,690	23,604	26,049	24,901	25,706	25,867
	(1) 入院収益	14,752	14,655	15,782	15,003	16,639	15,766	16,355	16,435
	(2) 外来収益	7,007	7,068	7,237	7,009	7,605	7,437	7,642	7,716
	(3) その他	1,672	1,658	1,671	1,592	1,805	1,698	1,709	1,715
	うち他会計負担金 a'	434	440	448	455	526	490	490	490
	2. 医業外収益	4,238	4,256	4,105	7,552	4,860	4,751	4,684	4,685
	(1) 他会計負担金・補助金	3,423	3,445	3,348	3,780	3,290	3,259	3,248	3,233
	(2) 国（県）補助金	187	191	164	2,420	225	150	151	150
	(3) 長期前受金戻入	385	375	342	1,105	1,095	1,170	1,125	1,133
	(4) その他	243	245	251	247	250	172	159	168
経常収益 (A)	27,669	27,637	28,795	31,156	30,909	29,652	30,390	30,551	
支	1. 医業費用 b	27,299	27,352	27,769	28,393	29,700	28,548	28,794	28,894
	(1) 職員給与費 c	15,041	15,456	15,732	15,896	16,588	16,342	16,515	16,636
	うち退職給付費 c'	599	585	632	492	615	634	612	634
	(2) 材料費	5,233	4,968	5,188	5,163	5,507	5,085	5,227	5,227
	(3) 経費	4,149	4,136	4,176	4,507	4,963	4,475	4,530	4,536
	(4) 減価償却費 d	2,710	2,609	2,509	2,492	2,302	2,439	2,309	2,279
	(5) その他	166	183	164	335	340	206	213	216
	2. 医業外費用	1,308	1,254	1,377	1,593	1,573	1,268	1,231	1,203
	(1) 支払利息	334	314	295	277	265	260	250	227
	(2) その他	974	940	1,082	1,316	1,308	1,008	981	976
経常費用 (B)	28,607	28,606	29,146	29,986	31,273	29,816	30,025	30,097	
経常損益 (A)-(B) (C)	▲ 938	▲ 969	▲ 351	1,170	▲ 364	▲ 164	365	454	
特別損益	1. 特別利益 (D)	22	39	27	4,614	69	65	59	52
	2. 特別損失 (E)	514	563	112	601	62	52	49	48
	特別損益 (D)-(E) (F)	▲ 492	▲ 524	▲ 85	4,013	7	13	10	4
純損益 (C)+(F)	▲ 1,430	▲ 1,493	▲ 436	5,183	▲ 357	▲ 151	375	458	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	96.7	96.6	98.8	103.9	98.8	99.4	101.2	101.5	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	85.8	85.5	88.9	83.1	87.7	87.2	89.3	89.5	
修正医業収支比率 $\frac{a-a'}{b-(c'+d)} \times 100$	95.9	95.0	98.4	91.1	95.3	95.8	97.5	97.7	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	64.2	66.1	63.7	67.3	63.7	65.6	64.2	64.3	
病床利用率	77.3	73.3	77.0	74.3	75.7	75.1	76.6	76.7	

## 2. 収支計画(資本的収支)

税込

(単位:百万円、%)

年度		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収 入	1. 企業債	1,118	1,192	1,347	788	2,413	1,903	730	943
	2. 他会計出資金	1,120	1,154	1,150	0	0	0	0	0
	3. 他会計負担金	88	116	117	1,279	1,463	1,573	1,599	1,637
	4. 他会計借入金	5	10	20	26	26	25	25	25
	5. 他会計補助金	0	0	0	325	185	0	0	0
	6. 国(県)補助金	96	1	0	272	204	0	0	0
	7. その他	11	6	17	8	24	12	12	12
	収入計 (a)	2,438	2,479	2,651	2,698	4,315	3,513	2,366	2,617
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	2,438	2,479	2,651	2,698	4,315	3,513	2,366	2,617	
支 出	1. 建設改良費	1,602	1,402	1,545	2,648	3,272	2,010	826	1,010
	2. 企業債償還金	1,921	2,021	2,006	2,071	1,995	2,441	2,503	2,534
	3. 他会計長期借入金返還金	15	34	68	84	69	66	66	65
	4. その他	54	74	61	49	78	65	64	69
	支出計 (B)	3,592	3,531	3,680	4,852	5,414	4,582	3,459	3,678
差引不足額 (B)-(A) (C)	1,154	1,052	1,029	2,154	1,099	1,069	1,092	1,061	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	1,034	945	908	1,938	954	946	1,009	991
	2. 利益剰余金処分額	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	120	107	121	217	146	123	84	70
計 (D)	1,154	1,052	1,029	2,154	1,099	1,069	1,092	1,061	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

## 3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収益的収支	163,192	163,730	125,999	154,781	118,966	118,984	118,992	118,992
資本的収支	47,959	48,570	45,268	15,682	20,620	13,358	12,371	11,384
合計	211,151	212,300	171,267	170,463	139,586	132,342	131,364	130,376

## 1. 収支計画（収益的収支）

税抜き

（単位：百万円、％）

区分		年度							
		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収	1. 医業収益 a	1,510	1,391	1,352	1,478	1,541	1,418	1,429	1,434
	(1) 入院収益	1,204	1,110	1,073	1,205	1,252	1,135	1,146	1,150
	(2) 外来収益	218	201	197	195	194	202	202	202
	(3) その他	88	80	82	78	95	81	81	81
	うち他会計負担金 a'	43	45	48	50	50	50	50	50
	2. 医業外収益	450	463	468	519	447	458	455	444
	(1) 他会計負担金・補助金	384	397	406	387	370	372	371	371
	(2) 国（県）補助金	3	6	6	66	10	3	4	3
	(3) 長期前受金戻入	55	52	49	58	59	74	73	63
	(4) その他	8	8	8	8	8	9	6	6
経常収益 (A)	1,960	1,854	1,820	1,997	1,988	1,876	1,884	1,877	
支	1. 医業費用 b	1,780	1,733	1,682	1,760	1,910	1,786	1,791	1,793
	(1) 職員給与費 c	1,248	1,218	1,194	1,217	1,331	1,220	1,227	1,236
	うち退職給付費 c'	12	16	12	29	84	16	16	16
	(2) 材料費	172	156	147	174	189	157	157	157
	(3) 経費	231	233	221	251	265	254	255	261
	(4) 減価償却費 d	117	115	108	114	113	142	140	127
	(5) その他	12	11	12	4	12	12	12	12
	2. 医業外費用	38	35	44	52	67	44	44	43
	(1) 支払利息	3	2	2	2	2	3	3	2
	(2) その他	35	33	41	50	65	41	41	41
経常費用 (B)	1,818	1,768	1,726	1,812	1,977	1,830	1,835	1,836	
経常損益 (A)-(B) (C)	142	86	94	185	11	46	49	41	
特別損益	1. 特別利益 (D)	1	1	6	71	0	0	0	0
	2. 特別損失 (E)	88	89	1	12	1	1	1	1
	特別損益 (D)-(E) (F)	▲ 87	▲ 88	5	59	▲ 1	▲ 1	▲ 1	▲ 1
純損益 (C)+(F)	55	▲ 2	99	244	10	45	48	40	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	107.8	104.9	105.4	110.2	100.6	102.5	102.7	102.2	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	84.8	80.3	80.4	84.0	80.7	79.4	79.8	80.0	
修正医業収支比率 $\frac{a-a'}{b-(c'+d)} \times 100$	88.9	84.0	83.5	88.3	87.0	84.0	84.3	83.8	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	82.6	87.6	88.3	82.3	86.4	86.0	85.9	86.2	
病床利用率	79.6	72.2	72.9	80.0	81.6	76.0	76.5	77.0	

## 2. 収支計画(資本的収支)

税込

(単位:百万円、%)

年度		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収 入	1. 企 業 債	15	0	80	8	188	15	15	15
	2. 他 会 計 出 資 金	19	19	17	0	0	0	0	0
	3. 他 会 計 負 担 金	0	0	0	20	16	35	33	35
	4. 他 会 計 借 入 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他 会 計 補 助 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 国 ( 県 ) 補 助 金	1	1	0	65	0	0	0	0
	7. そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
	収 入 計 (a)	35	20	97	93	204	50	48	50
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	35	20	97	93	204	50	48	50	
支 出	1. 建 設 改 良 費	27	9	98	81	215	15	15	15
	2. 企 業 債 償 還 金	35	35	31	36	29	67	64	67
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
支 出 計 (B)	62	44	129	117	244	82	79	82	
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	27	24	32	24	40	32	30	32	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	25	21	25	17	21	31	29	31
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	2	3	7	7	19	1	1	1
計 (D)	27	24	32	24	40	32	30	32	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0	
実 質 財 源 不 足 額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

## 3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収 益 的 収 支	427	442	454	437	420	422	421	421
資 本 的 収 支	19	19	17	20	16	35	33	35
合 計	446	461	471	457	436	457	455	456



施設名	島原病院
-----	------

1. 収支計画（収益的収支）

税抜き

（単位：百万円、％）

区分		年度							
		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収	1. 医業収益 a	5,331	5,154	5,545	5,034	5,686	5,171	5,846	5,947
	(1) 入院収益	3,837	3,687	4,083	3,568	4,117	3,715	4,198	4,242
	(2) 外来収益	1,272	1,245	1,235	1,247	1,358	1,250	1,434	1,491
	(3) その他	222	222	227	219	211	206	214	214
	うち他会計負担金 a'	120	124	129	134	114	114	114	114
	2. 医業外収益	455	471	401	1,509	674	765	688	666
	(1) 他会計負担金・補助金	348	372	333	342	335	334	329	323
	(2) 国（県）補助金	33	32	10	885	34	12	12	12
	(3) 長期前受金戻入	57	50	40	268	289	402	329	313
	(4) その他	17	17	18	14	16	17	18	18
経常収益 (A)	5,786	5,625	5,946	6,543	6,360	5,936	6,534	6,613	
支	1. 医業費用 b	5,608	5,510	5,623	5,442	5,763	5,829	6,009	6,057
	(1) 職員給与費 c	2,819	2,870	2,970	2,919	3,092	3,070	3,189	3,246
	うち退職給付費 c'	136	117	177	44	58	145	149	155
	(2) 材料費	1,383	1,248	1,271	1,100	1,215	1,174	1,298	1,291
	(3) 経費	832	897	916	1,004	997	1,011	1,043	1,055
	(4) 減価償却費 d	553	458	440	397	392	544	450	435
	(5) その他	21	37	26	22	67	30	29	30
	2. 医業外費用	346	299	310	426	351	274	285	278
	(1) 支払利息	104	98	91	84	82	75	73	65
	(2) その他	242	201	219	342	269	199	212	213
経常費用 (B)	5,954	5,809	5,933	5,868	6,114	6,103	6,294	6,335	
経常損益 (A)-(B) (C)	▲ 168	▲ 184	13	675	246	▲ 167	240	278	
特別損益	1. 特別利益 (D)	2	15	6	1,392	3	8	8	8
	2. 特別損失 (E)	104	107	3	108	6	2	2	2
	特別損益 (D)-(E) (F)	▲ 102	▲ 92	3	1,284	▲ 3	6	6	6
純損益 (C)+(F)	▲ 270	▲ 276	16	1,959	243	▲ 161	246	284	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	97.2	96.8	100.2	111.5	104.0	97.3	103.8	104.4	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	95.1	93.5	98.6	92.5	98.7	88.7	97.3	98.2	
修正医業収支比率 $\frac{a-a'}{b-(c'+d)} \times 100$	105.9	101.9	108.2	98.0	104.9	98.4	106.0	106.7	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	52.9	55.7	53.6	58.0	54.4	59.4	54.6	54.6	
病床利用率	81.3	75.9	85.2	71.6	71.1	70.9	78.6	78.3	

施設名	島原病院
-----	------

2. 収支計画(資本的収支)

税込

(単位:百万円、%)

年度		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収 入	1. 企業債	692	244	74	242	1,395	800	100	350
	2. 他会計出資金	329	377	389	0	0	0	0	0
	3. 他会計負担金	44	79	83	462	565	587	523	512
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	6	0	0	62	2	0	0	0
	7. その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	収入計 (a)	1,071	700	546	766	1,962	1,387	623	862
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	1,071	700	546	766	1,962	1,387	623	862	
支 出	1. 建設改良費	742	262	133	1,382	1,452	822	117	367
	2. 企業債償還金	552	647	668	656	633	777	700	678
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	2	0	2	2	0	0	0
支出計 (B)	1,294	911	801	2,040	2,087	1,599	817	1,045	
差引不足額 (B)-(A) (C)	223	211	255	1,274	125	212	194	183	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	168	191	244	1,147	113	191	175	165
	2. 利益剰余金処分額	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	55	20	11	127	13	21	19	18
計 (D)	223	211	255	1,274	125	212	194	183	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収益的収支	468	668	462	476	449	448	443	437
資本的収支	374	456	472	462	565	587	523	512
合計	842	1,124	934	938	1,014	1,035	966	949

## 1. 収支計画（収益的収支）

税抜き

（単位：百万円、％）

年度 区分		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		(実績)	(実績)	(実績)	(見込み)				
収	1. 医業収益 a	4,745	4,759	5,279	4,892	5,624	5,452	5,479	5,465
	(1) 入院収益	2,853	2,882	3,270	3,015	3,536	3,388	3,414	3,404
	(2) 外来収益	1,559	1,535	1,667	1,554	1,737	1,695	1,694	1,691
	(3) その他	333	342	342	323	351	369	371	370
	うち他会計負担金 a'	110	110	110	110	113	77	77	77
	2. 医業外収益	1,303	1,318	1,299	2,356	1,313	1,314	1,320	1,332
	(1) 他会計負担金・補助金	1,124	1,138	1,120	1,270	878	897	892	886
	(2) 国（県）補助金	59	58	68	729	81	68	68	68
	(3) 長期前受金戻入	75	75	65	308	308	270	281	293
	(4) その他	45	47	46	49	46	79	79	85
経常収益 (A)	6,048	6,077	6,578	7,248	6,937	6,766	6,799	6,797	
支	1. 医業費用 b	5,826	5,781	5,983	6,413	6,854	6,422	6,469	6,480
	(1) 職員給与費 c	3,129	3,140	3,170	3,310	3,413	3,389	3,424	3,415
	うち退職給付費 c'	175	149	124	124	149	147	154	151
	(2) 材料費	1,131	1,067	1,239	1,200	1,253	1,276	1,280	1,277
	(3) 経費	986	1,000	1,044	1,149	1,514	1,152	1,154	1,155
	(4) 減価償却費 d	548	540	482	550	587	554	553	573
	(5) その他	32	34	48	204	87	51	58	60
	2. 医業外費用	321	309	393	387	411	335	315	308
	(1) 支払利息	119	111	102	95	89	83	78	71
	(2) その他	202	198	291	292	322	252	237	237
経常費用 (B)	6,147	6,090	6,376	6,800	7,265	6,757	6,784	6,788	
経常損益 (A)-(B) (C)	▲ 99	▲ 13	202	448	▲ 328	9	15	9	
特別損益	1. 特別利益 (D)	9	7	5	1,357	15	12	6	6
	2. 特別損失 (E)	90	103	14	115	15	22	19	22
	特別損益 (D)-(E) (F)	▲ 81	▲ 96	▲ 9	1,242	0	▲ 10	▲ 13	▲ 16
純損益 (C)+(F)	▲ 180	▲ 109	193	1,690	▲ 328	▲ 1	2	▲ 7	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	98.4	99.8	103.2	106.6	95.5	100.1	100.2	100.1	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	81.4	82.3	88.2	76.3	82.1	84.9	84.7	84.3	
修正医業収支比率 $\frac{a-a'}{b-(c'+d)} \times 100$	90.8	91.3	96.1	83.3	90.1	94.0	93.8	93.6	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	65.9	66.0	60.0	67.7	60.7	62.2	62.5	62.5	
病床利用率	66.9	63.3	67.6	66.9	69.8	69.7	70.2	69.8	

地域名

五島地域

## 2. 収支計画(資本的収支)

税込

(単位:百万円、%)

年度		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収 入	1. 企 業 債	204	238	852	294	70	448	265	294
	2. 他 会 計 出 資 金	401	397	383	0	0	0	0	0
	3. 他 会 計 負 担 金	11	10	11	408	492	457	482	510
	4. 他 会 計 借 入 金	0	0	0	1	1	0	0	0
	5. 他 会 計 補 助 金	0	0	0	21	0	0	0	0
	6. 国 ( 県 ) 補 助 金	4	0	0	131	197	0	0	0
	7. そ の 他	11	2	1	4	13	4	4	4
	収 入 計 (a)	631	647	1,247	859	773	909	751	808
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	631	647	1,247	859	773	909	751	808	
支 出	1. 建 設 改 良 費	288	286	926	507	549	506	316	316
	2. 企 業 債 償 還 金	648	639	609	665	687	722	769	815
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金	0	5	4	17	4	4	4	4
	4. そ の 他	18	20	20	3	17	21	20	22
支 出 計 (B)	954	950	1,559	1,192	1,257	1,253	1,109	1,157	
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	323	303	312	333	484	344	358	349	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	302	282	235	293	463	299	330	322
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	21	21	77	40	21	45	28	27
計 (D)	323	303	312	333	484	344	358	349	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

## 3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収 益 的 収 支	160,569	160,921	123,435	152,055	116,229	116,241	116,256	116,264
資 本 的 収 支	47,211	47,706	44,396	14,794	19,606	12,225	11,259	10,265
合 計	207,780	208,627	167,831	166,849	135,835	128,466	127,515	126,529

施設名	五島中央病院
-----	--------

1. 収支計画（収益的収支）

税抜き

（単位：百万円、％）

区分		年度							
		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収	1. 医業収益 a	3,978	3,948	4,404	4,063	4,771	4,614	4,643	4,635
	(1) 入院収益	2,410	2,390	2,724	2,508	3,010	2,874	2,900	2,892
	(2) 外来収益	1,345	1,325	1,445	1,350	1,515	1,464	1,466	1,466
	(3) その他	223	233	235	205	246	276	277	277
	うち他会計負担金 a'	38	38	38	38	49	49	49	49
	2. 医業外収益	1,047	1,061	1,044	1,998	1,112	1,089	1,096	1,108
	(1) 他会計負担金・補助金	905	921	903	969	732	727	722	716
	(2) 国（県）補助金	59	58	68	729	81	68	68	68
	(3) 長期前受金戻入	50	51	41	268	269	246	257	269
	(4) その他	33	31	32	32	30	48	49	55
経常収益 (A)	5,025	5,009	5,448	6,061	5,883	5,703	5,739	5,743	
支	1. 医業費用 b	4,870	4,839	5,019	5,305	5,752	5,355	5,409	5,443
	(1) 職員給与費 c	2,492	2,554	2,560	2,673	2,718	2,737	2,772	2,780
	うち退職給付費 c'	120	126	101	96	97	113	120	117
	(2) 材料費	1,023	958	1,132	1,064	1,134	1,162	1,167	1,165
	(3) 経費	856	840	883	905	1,325	930	932	933
	(4) 減価償却費 d	471	458	400	463	495	482	487	511
	(5) その他	28	29	44	200	80	44	51	54
	2. 医業外費用	291	279	361	347	382	317	296	289
	(1) 支払利息	115	108	100	93	87	81	76	69
	(2) その他	176	171	261	254	295	236	220	220
経常費用 (B)	5,161	5,118	5,380	5,652	6,134	5,672	5,705	5,732	
経常損益 (A)-(B) (C)	▲ 136	▲ 109	68	409	▲ 251	31	34	11	
特別損益	1. 特別利益 (D)	7	6	4	1,228	14	11	5	5
	2. 特別損失 (E)	4	13	12	102	14	21	18	21
	特別損益 (D)-(E) (F)	3	▲ 7	▲ 8	1,126	0	▲ 10	▲ 13	▲ 16
純損益 (C)+(F)	▲ 133	▲ 116	60	1,535	▲ 251	21	21	▲ 5	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	97.4	97.9	101.3	107.2	95.9	100.5	100.6	100.2	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	81.7	81.6	87.7	76.6	82.9	86.2	85.8	85.2	
修正医業収支比率 $\frac{a-a'}{b-(c+d)} \times 100$	92.1	91.9	96.6	84.8	91.5	95.9	95.7	95.2	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	62.6	64.7	58.1	65.8	57.0	59.3	59.7	60.0	
病床利用率	64.2	60.2	64.2	64.7	68.0	68.0	68.4	68.4	

## 2. 収支計画(資本的収支)

税込

(単位:百万円、%)

年度		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収 入	1. 企 業 債	188	215	821	281	50	428	245	274
	2. 他 会 計 出 資 金	337	334	323	0	0	0	0	0
	3. 他 会 計 負 担 金	11	10	11	387	467	431	456	484
	4. 他 会 計 借 入 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他 会 計 補 助 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 国 ( 県 ) 補 助 金	4	0	0	116	197	0	0	0
	7. そ の 他	11	2	1	4	13	4	4	4
	収 入 計 (a)	551	561	1,156	788	727	863	705	762
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	551	561	1,156	788	727	863	705	762	
支 出	1. 建 設 改 良 費	249	243	874	454	504	476	286	291
	2. 企 業 債 償 還 金	544	536	511	623	647	696	744	792
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金	0	5	3	16	3	3	3	3
	4. そ の 他	18	20	20	3	17	21	20	22
	支 出 計 (B)	811	804	1,408	1,096	1,171	1,196	1,053	1,108
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	260	243	252	308	444	333	348	346	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	242	226	178	270	425	290	322	320
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	18	17	74	38	19	43	26	26
	計 (D)	260	243	252	308	444	333	348	346
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

## 3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収 益 的 収 支	943	959	941	979	753	748	743	737
資 本 的 収 支	348	344	334	387	467	485	518	524
合 計	1,291	1,303	1,275	1,366	1,220	1,233	1,261	1,261

施設名	奈留医療センター
-----	----------

1. 収支計画（収益的収支）

税抜き

（単位：百万円、％）

区分		年度							
		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収	1. 医業収益 a	190	184	195	177	208	167	163	159
	(1) 入院収益	41	36	43	34	42	39	38	37
	(2) 外来収益	97	96	101	90	102	93	90	87
	(3) その他	52	52	51	53	64	35	35	35
	うち他会計負担金 a'	36	36	36	36	46	10	10	10
	2. 医業外収益	113	112	113	143	53	90	90	90
	(1) 他会計負担金・補助金	96	93	95	123	39	72	72	72
	(2) 国（県）補助金	0	0	0	0	0	0	0	0
	(3) 長期前受金戻入	12	12	12	16	11	12	12	12
	(4) その他	5	7	6	4	3	6	6	6
経常収益 (A)	303	296	308	320	261	257	253	249	
支	1. 医業費用 b	346	306	309	347	328	334	333	330
	(1) 職員給与費 c	237	161	176	177	178	193	193	193
	うち退職給付費 c'	34	10	10	4	6	6	6	6
	(2) 材料費	31	31	28	38	30	33	32	31
	(3) 経費	46	79	72	97	84	74	74	74
	(4) 減価償却費 d	32	33	31	33	34	32	31	30
	(5) その他	0	2	2	2	2	2	3	2
	2. 医業外費用	11	12	13	13	9	1	1	1
	(1) 支払利息	2	2	1	1	1	1	1	1
	(2) その他	9	10	12	12	8	0	0	0
経常費用 (B)	357	318	322	360	337	335	334	331	
経常損益 (A)-(B) (C)	▲ 54	▲ 22	▲ 14	▲ 40	▲ 76	▲ 78	▲ 81	▲ 82	
特別損益	1. 特別利益 (D)	1	0	0	26	0	0	0	0
	2. 特別損失 (E)	29	22	0	8	0	0	0	0
	特別損益 (D)-(E) (F)	▲ 28	▲ 22	0	18	0	0	0	0
純損益 (C)+(F)	▲ 82	▲ 44	▲ 14	▲ 22	▲ 76	▲ 78	▲ 81	▲ 82	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	84.9	93.1	95.7	88.9	77.4	76.7	75.7	75.2	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	54.9	60.1	63.1	51.0	63.4	50.0	48.9	48.2	
修正医業収支比率 $\frac{a-a'}{b-(c'+d)} \times 100$	55.0	56.3	59.3	45.5	56.3	53.0	51.7	50.7	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	124.7	87.5	90.3	100.0	85.6	115.6	118.4	121.4	
病床利用率	36.2	32.1	38.7	26.0	36.9	35.8	34.7	33.8	

施設名

奈留医療センター

## 2. 収支計画(資本的収支)

税込

(単位:百万円、%)

年度		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
収 入	1. 企 業 債	6	3	21	3	10	5	5	5	
	2. 他 会 計 出 資 金	17	16	16	0	0	0	0	0	
	3. 他 会 計 負 担 金	0	0	0	7	6	7	7	7	
	4. 他 会 計 借 入 金	0	0	0	1	1	0	0	0	
	5. 他 会 計 補 助 金	0	0	0	0	0	0	0	0	
	6. 国 ( 県 ) 補 助 金	0	0	0	15	0	0	0	0	
	7. そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	
	収 入 計 (a)	23	19	37	26	17	12	12	12	
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0	
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0	
	純計(a)-{(b)+(c)} (A)	23	19	37	26	17	12	12	12	
	支 出	1. 建 設 改 良 費	8	10	23	15	20	5	5	0
		2. 企 業 債 償 還 金	28	26	25	13	11	12	13	13
3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金		0	0	1	1	1	1	1	1	
4. そ の 他		0	0	0	0	0	0	0	0	
支 出 計 (B)		36	36	49	29	32	18	19	14	
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	13	17	12	3	15	6	7	2		
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	12	16	11	3	15	6	7	2	
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0	0	0	0	0	0	
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0	0	0	0	0	0	
	4. そ の 他	1	1	1	0	0	0	0	0	
	計 (D)	13	17	12	3	15	6	7	2	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0		
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0		
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0		

## 3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収 益 的 収 支	132	130	132	107	82	82	82	82
資 本 的 収 支	17	16	16	7	6	7	8	8
合 計	149	146	148	114	88	89	90	90



施設名	富江病院
-----	------

1. 収支計画（収益的収支）

税抜き

（単位：百万円、％）

区分		年度							
		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収	1. 医業収益 a	577	627	680	652	645	671	673	671
	(1) 入院収益	402	456	503	473	484	475	476	475
	(2) 外来収益	117	114	121	114	120	138	138	138
	(3) その他	58	57	56	65	41	58	59	58
	うち他会計負担金 a'	36	36	36	36	18	18	18	18
	2. 医業外収益	143	145	142	215	148	135	134	134
	(1) 他会計負担金・補助金	123	124	122	178	107	98	98	98
	(2) 国（県）補助金								
	(3) 長期前受金戻入	13	12	12	24	28	12	12	12
	(4) その他	7	9	8	13	13	25	24	24
経常収益 (A)	720	772	822	867	793	806	807	805	
入	1. 医業費用 b	610	636	655	761	774	733	727	707
	(1) 職員給与費 c	400	425	434	460	517	459	459	442
	うち退職給付費 c'	21	13	13	24	46	28	28	28
	(2) 材料費	77	78	79	98	89	81	81	81
	(3) 経費	84	81	89	147	105	148	148	148
	(4) 減価償却費 d	45	49	51	54	58	40	35	32
	(5) その他	4	3	2	2	5	5	4	4
	2. 医業外費用	19	18	19	27	20	17	18	18
	(1) 支払利息	2	1	1	1	1	1	1	1
	(2) その他	17	17	18	26	19	16	17	17
経常費用 (B)	629	654	674	788	794	750	745	725	
経常損益 (A)-(B) (C)	91	118	148	79	▲1	56	62	80	
特別損益	1. 特別利益 (D)	1	1	1	103	1	1	1	1
	2. 特別損失 (E)	57	68	2	5	1	1	1	1
	特別損益 (D)-(E) (F)	▲56	▲67	▲1	98	0	0	0	0
純損益 (C)+(F)	35	51	147	177	▲1	56	62	80	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	114.5	118.0	122.0	110.0	99.9	107.5	108.3	111.0	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	94.6	98.6	103.8	85.7	83.3	91.5	92.6	94.9	
修正医業収支比率 $\frac{a-a'}{b-(c'+d)} \times 100$	99.4	103.0	109.0	90.2	93.6	98.2	98.6	100.9	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	69.3	67.8	63.8	70.6	80.2	68.4	68.2	65.9	
病床利用率	92.4	91.3	95.1	94.5	90.9	90.9	90.9	90.9	

施設名

富江病院

## 2. 収支計画(資本的収支)

税込

(単位:百万円、%)

年度		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収 入	1. 企 業 債	10	20	10	10	10	15	15	15
	2. 他 会 計 出 資 金	47	47	44	0	0	0	0	0
	3. 他 会 計 負 担 金				14	19	19	19	19
	4. 他 会 計 借 入 金								
	5. 他 会 計 補 助 金				21				
	6. 国 ( 県 ) 補 助 金								
	7. そ の 他								
	収 入 計 (a)	57	67	54	45	29	34	34	34
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)								
	前年度許可債で当年度借入分 (c)								
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	57	67	54	45	29	34	34	34	
支 出	1. 建 設 改 良 費	31	33	29	38	25	25	25	25
	2. 企 業 債 償 還 金	76	77	73	29	29	14	12	10
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金								
	4. そ の 他								
支 出 計 (B)	107	110	102	67	54	39	37	35	
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	50	43	48	22	25	5	3	1	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	48	40	46	20	23	3	1	
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額								
	3. 繰 越 工 事 資 金								
	4. そ の 他	2	3	2	2	2	2	2	1
計 (D)	50	43	48	22	25	5	3	1	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)									
実 質 財 源 不 足 額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

## 3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収 益 的 収 支	159,494	159,832	122,362	150,969	115,394	115,411	115,431	115,445
資 本 的 収 支	46,846	47,346	44,046	14,400	19,133	11,733	10,733	9,733
合 計	206,340	207,178	166,408	165,369	134,527	127,144	126,164	125,178

地域名	上五島地域
-----	-------

1. 収支計画（収益的収支）

税抜き

（単位：百万円、％）

年度		年度								
		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
収 入	1. 医業収益 a	3,788	3,851	4,023	3,895	4,110	4,145	4,151	4,145	
	(1) 入院収益	1,911	1,910	2,093	2,018	2,128	2,175	2,181	2,175	
	(2) 外来収益	1,566	1,608	1,609	1,554	1,635	1,635	1,635	1,635	
	(3) その他	311	333	321	323	347	335	335	335	
	うち他会計負担金 a'	40	40	40	40	55	55	55	55	
	2. 医業外収益	539	489	458	879	646	626	666	684	
	(1) 他会計負担金・補助金	372	318	296	460	454	449	450	450	
	(2) 国（県）補助金	37	43	27	214	29	17	17	17	
	(3) 長期前受金戻入	53	53	47	114	113	114	154	169	
	(4) その他	77	75	88	91	50	46	45	48	
	経常収益 (A)	4,327	4,340	4,481	4,774	4,756	4,771	4,817	4,829	
	支 出	1. 医業費用 b	4,260	4,434	4,442	4,544	4,649	4,559	4,607	4,634
		(1) 職員給与費 c	2,307	2,453	2,537	2,615	2,714	2,633	2,640	2,669
		うち退職給付費 c'	83	101	84	86	98	101	88	98
(2) 材料費		876	882	837	840	879	876	877	876	
(3) 経費		600	621	614	640	638	646	646	646	
(4) 減価償却費 d		424	428	418	396	353	356	395	394	
(5) その他		53	50	36	53	65	48	49	49	
2. 医業外費用		172	167	182	223	175	210	189	183	
(1) 支払利息		2	2	2	2	2	5	9	8	
(2) その他		170	165	180	221	173	205	180	175	
経常費用 (B)		4,432	4,601	4,624	4,767	4,824	4,769	4,796	4,817	
経常損益 (A)-(B) (C)		▲ 105	▲ 261	▲ 143	7	▲ 68	2	21	12	
特別 損益		1. 特別利益 (D)	2	2	4	442	1	2	0	0
		2. 特別損失 (E)	55	58	14	78	14	9	9	9
	特別損益 (D)-(E) (F)	▲ 53	▲ 56	▲ 10	364	▲ 13	▲ 7	▲ 9	▲ 9	
純損益 (C)+(F)	▲ 158	▲ 317	▲ 153	371	▲ 81	▲ 5	12	3		
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	97.6	94.3	96.9	100.1	98.6	100.0	100.4	100.2		
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	88.9	86.9	90.6	85.7	88.4	90.9	90.1	89.4		
修正医業収支比率 $\frac{a-a'}{b-(c+d)} \times 100$	99.9	97.6	101.1	94.9	96.6	99.7	99.3	98.7		
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	60.9	63.7	63.1	67.1	66.0	63.5	63.6	64.4		
病床利用率	81.8	75.5	79.8	80.4	80.6	80.6	80.9	80.4		

地域名

上五島地域

## 2. 収支計画(資本的収支)

税込

(単位:百万円、%)

年度		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収 入	1. 企 業 債	70	126	70	141	70	520	230	164
	2. 他 会 計 出 資 金	84	84	80	0	0	0	0	0
	3. 他 会 計 負 担 金	10	10	8	86	77	97	142	149
	4. 他 会 計 借 入 金	1	1	1	1	1	1	1	1
	5. 他 会 計 補 助 金	0	0	0	124	185	0	0	0
	6. 国 ( 県 ) 補 助 金	7	0	0	0	0	0	0	0
	7. そ の 他	0	3	0	4	4	4	4	4
	収 入 計 (a)	172	224	159	356	337	622	377	318
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	172	224	159	356	337	622	377	318	
支 出	1. 建 設 改 良 費	259	225	107	292	327	542	253	187
	2. 企 業 債 償 還 金	167	168	159	159	106	157	246	259
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金	2	4	2	5	5	2	2	1
	4. そ の 他	1	15	13	14	18	13	13	15
	支 出 計 (B)	429	412	281	470	456	714	514	462
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	257	188	122	114	119	92	137	144	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	239	171	115	89	92	44	115	128
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	18	17	7	25	27	48	22	16
計 (D)	257	188	122	114	119	92	137	144	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

## 3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収 益 的 収 支	412	358	335	452	471	472	473	474
資 本 的 収 支	93	94	87	86	78	97	142	149
合 計	505	452	422	538	549	569	615	623

施設名	上五島病院
-----	-------

1. 収支計画（収益的収支）

税抜き

（単位：百万円、％）

区分		年度							
		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収	1. 医業収益 a	3,260	3,297	3,487	3,393	3,574	3,614	3,620	3,614
	(1) 入院収益	1,911	1,910	2,093	2,018	2,128	2,175	2,181	2,175
	(2) 外来収益	1,109	1,125	1,142	1,111	1,162	1,167	1,167	1,167
	(3) その他	240	262	252	264	284	272	272	272
	うち他会計負担金 a'	40	40	40	40	55	55	55	55
	2. 医業外収益	441	444	413	809	575	557	599	617
	(1) 他会計負担金・補助金	294	292	270	427	410	408	409	409
	(2) 国（県）補助金	37	43	27	213	29	17	17	17
	(3) 長期前受金戻入	37	38	33	86	90	94	135	151
	(4) その他	73	71	83	83	46	38	38	40
経常収益 (A)	3,701	3,741	3,900	4,202	4,149	4,171	4,219	4,231	
支	1. 医業費用 b	3,644	3,835	3,861	3,971	4,075	4,000	4,052	4,081
	(1) 職員給与費 c	1,961	2,123	2,210	2,296	2,384	2,321	2,332	2,362
	うち退職給付費 c'	68	77	68	71	78	89	77	87
	(2) 材料費	769	772	737	743	781	775	776	775
	(3) 経費	507	523	525	546	551	548	548	548
	(4) 減価償却費 d	356	369	358	336	304	311	351	350
	(5) その他	51	48	31	50	55	45	45	46
	2. 医業外費用	159	152	167	205	160	199	178	172
	(1) 支払利息	1	1	1	1	1	4	8	7
	(2) その他	158	151	166	204	159	195	170	165
経常費用 (B)	3,803	3,987	4,028	4,176	4,235	4,199	4,230	4,253	
経常損益 (A)-(B) (C)	▲ 102	▲ 246	▲ 128	26	▲ 86	▲ 28	▲ 11	▲ 22	
特別損益	1. 特別利益 (D)	2	2	4	359	1	2	0	0
	2. 特別損失 (E)	25	28	14	75	14	9	9	9
	特別損益 (D)-(E) (F)	▲ 23	▲ 26	▲ 10	284	▲ 13	▲ 7	▲ 9	▲ 9
純損益 (C)+(F)	▲ 125	▲ 272	▲ 138	310	▲ 99	▲ 35	▲ 20	▲ 31	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	97.3	93.8	96.8	100.6	98.0	99.3	99.7	99.5	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	89.5	86.0	90.3	85.4	87.7	90.4	89.3	88.6	
修正医業収支比率 $\frac{a-a'}{b-(c'+d)} \times 100$	100.0	96.1	100.3	94.1	95.3	98.9	98.4	97.7	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	60.2	64.4	63.4	67.7	66.7	64.2	64.4	65.4	
病床利用率	81.8	75.5	79.6	80.6	80.6	80.6	80.6	80.6	

## 2. 収支計画(資本的収支)

税込

(単位:百万円、%)

年度		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収 入	1. 企 業 債	70	102	60	130	57	500	210	144
	2. 他 会 計 出 資 金	64	65	59	0	0	0	0	0
	3. 他 会 計 負 担 金	10	10	8	66	65	84	127	134
	4. 他 会 計 借 入 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他 会 計 補 助 金	0	0	0	124	185	0	0	0
	6. 国 ( 県 ) 補 助 金	7	0	0	0	0	0	0	0
	7. そ の 他	0	3	0	4	4	4	4	4
	収 入 計 (a)	151	180	127	324	311	588	341	282
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	151	180	127	324	311	588	341	282	
支 出	1. 建 設 改 良 費	257	198	91	276	281	521	232	166
	2. 企 業 債 償 還 金	127	130	117	120	83	133	218	232
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金	0	2	0	3	3	0	0	0
	4. そ の 他	1	15	13	14	18	13	13	15
	支 出 計 (B)	385	345	221	413	385	667	463	413
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	234	165	94	89	74	79	122	131	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	216	150	88	65	50	32	101	116
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	18	15	6	24	24	47	21	15
	計 (D)	234	165	94	89	74	79	122	131
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

## 3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収 益 的 収 支	334	332	309	430	430	431	432	433
資 本 的 収 支	73	75	66	66	65	84	127	134
合 計	407	407	375	496	495	515	559	567

施設名	有川医療センター
-----	----------

1. 収支計画（収益的収支）

税抜き

（単位：百万円、％）

区分		年度							
		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収	1. 医業収益 a	375	398	376	357	381	381	381	381
	(1) 入院収益	0	0	0	0	0	0	0	0
	(2) 外来収益	327	351	330	317	339	338	338	338
	(3) その他	48	47	46	40	42	43	43	43
	うち他会計負担金 a'	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 医業外収益	28	25	26	35	40	39	38	38
	(1) 他会計負担金・補助金	17	14	15	16	25	23	23	23
	(2) 国（県）補助金	0	0	0	1	0	0	0	0
	(3) 長期前受金戻入	8	8	8	15	13	11	10	10
	(4) その他	3	3	3	3	2	5	5	5
経常収益 (A)	403	423	402	392	421	420	419	419	
支	1. 医業費用 b	386	386	385	377	374	371	371	373
	(1) 職員給与費 c	213	206	218	211	213	206	206	207
	うち退職給付費 c'	9	8	12	13	8	8	7	7
	(2) 材料費	80	81	67	67	67	68	68	68
	(3) 経費	51	61	56	59	54	65	65	65
	(4) 減価償却費 d	41	37	38	38	32	30	30	31
	(5) その他	1	1	6	2	8	2	2	2
	2. 医業外費用	8	10	10	11	11	10	10	10
	(1) 支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0
	(2) その他	8	10	10	11	11	10	10	10
経常費用 (B)	394	396	395	388	385	381	381	383	
経常損益 (A)-(B) (C)	9	27	7	4	36	39	38	36	
特別損益	1. 特別利益 (D)	0	0	0	36	0	0	0	0
	2. 特別損失 (E)	13	14	0	2	0	0	0	0
	特別損益 (D)-(E) (F)	▲ 13	▲ 14	0	34	0	0	0	0
純損益 (C)+(F)	▲ 4	13	7	38	36	39	38	36	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	102.3	106.8	101.8	101.0	109.4	110.2	110.0	109.4	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	97.2	103.1	97.7	94.7	101.9	102.7	102.7	102.1	
修正医業収支比率 $\frac{a-a'}{b-(c'+d)} \times 100$	111.6	116.7	112.2	109.5	114.1	114.4	114.1	113.7	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	56.8	51.8	58.0	59.1	55.9	54.1	54.1	54.3	
病床利用率									

施設名

有川医療センター

## 2. 収支計画(資本的収支)

税込

(単位:百万円、%)

年度		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収 入	1. 企 業 債	0	15	10	5	5	10	10	10
	2. 他 会 計 出 資 金	8	6	7	0	0	0	0	0
	3. 他 会 計 負 担 金	0	0	0	6	4	4	5	5
	4. 他 会 計 借 入 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他 会 計 補 助 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 国 ( 県 ) 補 助 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	7. そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
	収 入 計 (a)	8	21	17	11	9	14	15	15
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	8	21	17	11	9	14	15	15	
支 出	1. 建 設 改 良 費	2	17	13	8	38	11	11	11
	2. 企 業 債 償 還 金	15	13	15	12	7	8	10	9
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
	支 出 計 (B)	17	30	28	20	45	19	21	20
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	9	9	11	9	36	5	6	5	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	9	7	10	8	33	4	5	4
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	2	1	1	3	1	1	1
	計 (D)	9	9	11	9	36	5	6	5
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

## 3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収 益 的 収 支	17	14	15	11	23	23	23	23
資 本 的 収 支	8	6	7	6	4	4	5	5
合 計	25	20	22	17	27	27	28	28



1. 収支計画（収益的収支）

税抜き

（単位：百万円、％）

区分		年度							
		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収	1. 医業収益 a	153	156	160	145	155	150	150	150
	(1) 入院収益	0	0	0	0	0	0	0	0
	(2) 外来収益	130	132	137	126	134	130	130	130
	(3) その他	23	24	23	19	21	20	20	20
	うち他会計負担金 a'	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. 医業外収益	70	20	19	35	31	30	29	29
	(1) 他会計負担金・補助金	61	12	11	17	19	18	18	18
	(2) 国（県）補助金	0	0	0	0	0	0	0	0
	(3) 長期前受金戻入	8	7	6	13	10	9	9	8
	(4) その他	1	1	2	5	2	3	2	3
経常収益 (A)	223	176	179	180	186	180	179	179	
支	1. 医業費用 b	230	213	196	196	200	188	184	180
	(1) 職員給与費 c	133	124	109	108	117	106	102	100
	うち退職給付費 c'	6	16	4	2	12	4	4	4
	(2) 材料費	27	29	33	30	31	33	33	33
	(3) 経費	42	37	33	35	33	33	33	33
	(4) 減価償却費 d	27	22	22	22	17	15	14	13
	(5) その他	1	1	0	1	2	1	2	1
	2. 医業外費用	5	5	5	7	4	1	1	1
	(1) 支払利息	1	1	1	1	1	1	1	1
	(2) その他	4	4	4	6	3	0	0	0
経常費用 (B)	235	218	201	203	204	189	185	181	
経常損益 (A)-(B) (C)	▲ 12	▲ 42	▲ 22	▲ 23	▲ 18	▲ 9	▲ 6	▲ 2	
特別損益	1. 特別利益 (D)	0	0	0	47	0	0	0	0
	2. 特別損失 (E)	17	16	0	1	0	0	0	0
	特別損益 (D)-(E) (F)	▲ 17	▲ 16	0	46	0	0	0	0
純損益 (C)+(F)	▲ 29	▲ 58	▲ 22	23	▲ 18	▲ 9	▲ 6	▲ 2	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	94.9	80.7	89.1	88.7	91.2	95.2	96.8	98.9	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	66.5	73.2	81.6	74.0	77.5	79.8	81.5	83.3	
修正医業収支比率 $\frac{a-a'}{b-(c+d)} \times 100$	77.7	89.1	94.1	84.3	90.6	88.8	90.4	92.0	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	86.9	79.5	68.1	74.5	75.5	70.7	68.0	66.7	
病床利用率									

## 2. 収支計画(資本的収支)

税込

(単位:百万円、%)

年度		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収 入	1. 企 業 債	0	9	0	6	8	10	10	10
	2. 他 会 計 出 資 金	12	13	14	0	0	0	0	0
	3. 他 会 計 負 担 金	0	0	0	14	8	9	10	10
	4. 他 会 計 借 入 金	1	1	1	1	1	1	1	1
	5. 他 会 計 補 助 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 国 ( 県 ) 補 助 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	7. そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
	収 入 計 (a)	13	23	15	21	17	20	21	21
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	13	23	15	21	17	20	21	21	
支 出	1. 建 設 改 良 費	0	10	3	8	8	10	10	10
	2. 企 業 債 償 還 金	25	25	27	27	16	16	18	18
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金	2	2	2	2	2	2	2	1
	4. そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
支 出 計 (B)	27	37	32	37	26	28	30	29	
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	14	14	17	16	9	8	9	8	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	14	14	17	16	9	8	9	8
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
計 (D)	14	14	17	16	9	8	9	8	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

## 3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収 益 的 収 支	61	12	11	11	18	18	18	18
資 本 的 収 支	12	13	14	14	9	9	10	10
合 計	73	25	25	25	27	27	28	28

地域名	対馬地域
-----	------

1. 収支計画（収益的収支）

税抜き

（単位：百万円、％）

区分		年度							
		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収	1. 医業収益 a	5,322	5,322	5,481	5,472	5,866	5,691	5,720	5,735
	(1) 入院収益	3,156	3,169	3,317	3,347	3,551	3,437	3,457	3,460
	(2) 外来収益	1,663	1,677	1,684	1,681	1,804	1,794	1,802	1,811
	(3) その他	503	476	480	444	511	460	461	464
	うち他会計負担金 a'	78	78	78	78	122	122	122	122
	2. 医業外収益	1,031	1,055	1,033	1,398	1,258	1,085	1,066	1,077
	(1) 他会計負担金・補助金	777	805	791	851	852	822	821	819
	(2) 国（県）補助金	51	48	49	233	71	50	50	50
	(3) 長期前受金戻入	121	122	120	245	243	255	239	248
	(4) その他	82	80	73	69	92	△ 42	△ 44	△ 40
経常収益 (A)	6,353	6,377	6,514	6,870	7,124	6,776	6,786	6,812	
支	1. 医業費用 b	6,715	6,661	6,673	6,763	6,966	6,539	6,484	6,473
	(1) 職員給与費 c	3,701	3,865	3,897	3,851	3,911	3,938	3,938	3,937
	うち退職給付費 c'	158	161	217	183	183	178	178	177
	(2) 材料費	1,116	1,058	1,084	1,185	1,271	980	981	980
	(3) 経費	1,063	912	909	943	1,020	922	922	922
	(4) 減価償却費 d	802	798	756	745	675	652	597	588
	(5) その他	33	28	27	39	89	47	46	46
	2. 医業外費用	287	267	294	324	401	264	261	258
	(1) 支払利息	51	49	47	46	44	48	45	42
	(2) その他	236	218	247	278	357	216	216	216
経常費用 (B)	7,002	6,928	6,967	7,087	7,367	6,803	6,745	6,731	
経常損益 (A)-(B) (C)	▲ 649	▲ 551	▲ 453	▲ 217	▲ 243	▲ 27	41	81	
特別損益	1. 特別利益 (D)	6	6	3	849	20	20	21	22
	2. 特別損失 (E)	98	117	64	207	11	8	8	8
	特別損益 (D)-(E) (F)	▲ 92	▲ 111	▲ 61	642	9	12	13	14
純損益 (C)+(F)	▲ 741	▲ 662	▲ 514	425	▲ 234	▲ 15	54	95	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	90.7	92.0	93.5	96.9	96.7	99.6	100.6	101.2	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	79.3	79.9	82.1	80.9	84.2	87.0	88.2	88.6	
修正医業収支比率 $\frac{a-a'}{b-(c'+d)} \times 100$	91.1	92.0	94.8	92.4	94.0	97.5	98.1	98.3	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	69.5	72.6	71.1	70.4	66.7	69.2	68.8	68.6	
病床利用率	76.7	72.2	74.7	72.7	72.9	72.9	73.1	72.7	

地域名	対馬地域
-----	------

2. 収支計画(資本的収支)

税込

(単位:百万円、%)

年度		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収 入	1. 企 業 債	73	69	224	101	640	70	70	70
	2. 他 会 計 出 資 金	147	152	135	0	0	0	0	0
	3. 他 会 計 負 担 金	14	11	10	148	166	258	258	267
	4. 他 会 計 借 入 金	4	9	19	24	24	24	24	24
	5. 他 会 計 補 助 金	0	0	0	42	0	0	0	0
	6. 国 ( 県 ) 補 助 金	78	0	0	14	5	0	0	0
	7. そ の 他	0	0	8	0	4	4	4	4
	収 入 計 (a)	316	241	396	329	839	356	356	365
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	316	241	396	329	839	356	356	365	
支 出	1. 建 設 改 良 費	196	74	230	245	673	70	70	70
	2. 企 業 債 償 還 金	282	289	258	272	290	416	418	436
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金	13	24	55	62	60	60	60	60
	4. そ の 他	23	27	20	17	28	19	19	20
	支 出 計 (B)	514	414	563	596	1,051	565	567	586
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	198	173	167	267	212	209	211	221	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	182	168	152	250	146	202	198	214
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	16	5	15	17	66	7	13	7
	計 (D)	198	173	167	267	212	209	211	221
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収 益 的 収 支	855	883	868	895	943	944	942	941
資 本 的 収 支	161	163	145	171	190	249	249	258
合 計	1,016	1,046	1,013	1,066	1,133	1,193	1,191	1,199

施設名	対馬病院
-----	------

1. 収支計画（収益的収支）

税抜き

（単位：百万円、％）

区分		年度							
		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収	1. 医業収益 a	4,512	4,555	4,751	4,790	5,155	4,916	4,924	4,916
	(1) 入院収益	2,740	2,779	2,969	3,017	3,188	3,045	3,054	3,045
	(2) 外来収益	1,396	1,417	1,411	1,426	1,539	1,511	1,511	1,511
	(3) その他	376	359	371	347	428	360	359	360
	うち他会計負担金 a'	40	40	40	40	98	98	98	98
	2. 医業外収益	772	811	803	1,127	998	906	891	896
	(1) 他会計負担金・補助金	593	636	630	678	688	663	662	660
	(2) 国（県）補助金	30	28	29	190	47	29	29	29
	(3) 長期前受金戻入	91	90	90	210	192	221	207	211
	(4) その他	58	57	54	49	71	△ 7	△ 7	△ 4
経常収益 (A)	5,284	5,366	5,554	5,917	6,153	5,822	5,815	5,812	
支	1. 医業費用 b	5,725	5,681	5,705	5,825	5,955	5,561	5,507	5,502
	(1) 職員給与費 c	3,068	3,235	3,255	3,261	3,293	3,315	3,317	3,319
	うち退職給付費 c'	124	153	196	160	147	149	149	149
	(2) 材料費	987	945	969	1,077	1,141	878	879	878
	(3) 経費	942	786	779	777	848	761	761	761
	(4) 減価償却費 d	701	695	679	679	592	573	517	511
	(5) その他	27	20	23	31	81	34	33	33
	2. 医業外費用	235	216	243	269	353	245	243	240
	(1) 支払利息	45	44	43	42	40	44	42	39
	(2) その他	190	172	200	227	313	201	201	201
経常費用 (B)	5,960	5,897	5,948	6,094	6,308	5,806	5,750	5,742	
経常損益 (A)-(B) (C)	▲ 676	▲ 531	▲ 394	▲ 177	▲ 155	16	65	70	
特別損益	1. 特別利益 (D)	6	6	3	661	19	19	20	21
	2. 特別損失 (E)	55	74	63	184	10	7	7	7
	特別損益 (D)-(E) (F)	▲ 49	▲ 68	▲ 60	477	9	12	13	14
純損益 (C)+(F)	▲ 725	▲ 599	▲ 454	300	▲ 146	28	78	84	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	88.7	91.0	93.4	97.1	97.5	100.3	101.1	101.2	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	78.8	80.2	83.3	82.2	86.6	88.4	89.4	89.3	
修正医業収支比率 $\frac{a-a'}{b-(c'+d)} \times 100$	91.3	93.4	97.5	95.3	97.0	99.6	99.7	99.5	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	68.0	71.0	68.5	68.1	63.9	67.4	67.4	67.5	
病床利用率	77.5	73.4	78.1	75.6	75.6	75.6	75.6	75.6	

2. 収支計画(資本的収支)

税込

(単位:百万円、%)

年度		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収 入	1. 企業債	40	41	189	0	620	55	55	55
	2. 他会計出資金	109	114	113	0	0	0	0	0
	3. 他会計負担金	14	11	10	126	134	228	230	232
	4. 他会計借入金	4	9	19	24	24	24	24	24
	5. 他会計補助金	0	0	0	42	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	0	0	0	0	2	0	0	0
	7. その他	0	0	8	0	4	4	4	4
	収入計 (a)	167	175	339	192	784	311	313	315
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	167	175	339	192	784	311	313	315	
支 出	1. 建設改良費	84	45	193	130	647	55	55	55
	2. 企業債償還金	209	217	219	230	229	360	365	369
	3. 他会計長期借入金返還金	13	24	55	62	60	60	60	60
	4. その他	23	25	19	16	26	19	19	20
	支出計 (B)	329	311	486	438	962	494	499	504
差引不足額 (B)-(A) (C)	162	136	147	246	178	183	186	189	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	155	134	134	237	113	177	180	183
	2. 利益剰余金処分額	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	7	2	13	9	65	6	6	6
	計 (D)	162	136	147	246	178	183	186	189
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収益的収支	633	676	669	690	759	761	759	758
資本的収支	123	125	123	149	158	219	221	223
合計	756	801	792	839	917	980	980	981

施設名	上対馬病院
-----	-------

1. 収支計画（収益的収支）

税抜き

（単位：百万円、％）

年度		年度								
		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
収 入	1. 医業収益 a	810	767	730	682	711	775	796	819	
	(1) 入院収益	416	390	348	330	363	392	403	415	
	(2) 外来収益	267	260	273	255	265	283	291	300	
	(3) その他	127	117	109	97	83	100	102	104	
	うち他会計負担金 a'	38	38	38	38	24	24	24	24	
	2. 医業外収益	259	244	230	271	260	179	175	181	
	(1) 他会計負担金・補助金	184	169	161	173	164	159	159	159	
	(2) 国（県）補助金	21	20	20	43	24	21	21	21	
	(3) 長期前受金戻入	30	32	30	35	51	34	32	37	
	(4) その他	24	23	19	20	21	△ 35	△ 37	△ 36	
	経常収益 (A)	1,069	1,011	960	953	971	954	971	1,000	
	支 出	1. 医業費用 b	990	980	968	938	1,011	978	977	971
		(1) 職員給与費 c	633	630	642	590	618	623	621	618
		うち退職給付費 c'	34	8	21	23	36	29	29	28
(2) 材料費		129	113	115	108	130	102	102	102	
(3) 経費		121	126	130	166	172	161	161	161	
(4) 減価償却費 d		101	103	77	66	83	79	80	77	
(5) その他		6	8	4	8	8	13	13	13	
2. 医業外費用		52	51	51	55	48	19	18	18	
(1) 支払利息		6	5	4	4	4	4	3	3	
(2) その他		46	46	47	51	44	15	15	15	
経常費用 (B)		1,042	1,031	1,019	993	1,059	997	995	989	
経常損益 (A)-(B) (C)		27	▲ 20	▲ 59	▲ 40	▲ 88	▲ 43	▲ 24	11	
特別 損益		1. 特別利益 (D)	0	0	0	188	1	1	1	1
		2. 特別損失 (E)	43	43	1	23	1	1	1	1
	特別損益 (D)-(E) (F)	▲ 43	▲ 43	▲ 1	165	0	0	0	0	
純損益 (C)+(F)	▲ 16	▲ 63	▲ 60	125	▲ 88	▲ 43	▲ 24	11		
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	102.6	98.1	94.2	96.0	91.7	95.7	97.6	101.1		
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	81.8	78.3	75.4	72.7	70.3	79.2	81.5	84.3		
修正医業収支比率 $\frac{a-a'}{b-(c'+d)} \times 100$	90.3	83.9	79.5	75.9	77.0	86.3	88.9	91.8		
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	78.1	82.1	87.9	86.5	86.9	80.4	78.0	75.5		
病床利用率	72.7	66.7	58.3	60.6	60.6	60.6	60.6	60.6		

## 2. 収支計画(資本的収支)

税込

(単位:百万円、%)

年度		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収 入	1. 企 業 債	33	28	35	101	20	15	15	15
	2. 他 会 計 出 資 金	38	38	22	0	0	0	0	0
	3. 他 会 計 負 担 金	0	0	0	22	32	30	28	35
	4. 他 会 計 借 入 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他 会 計 補 助 金	0	0	0	0		0	0	0
	6. 国 ( 県 ) 補 助 金	78	0	0	14	3	0	0	0
	7. そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
	収 入 計 (a)	149	66	57	137	55	45	43	50
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0
純計(a)-(b)+(c) (A)	149	66	57	137	55	45	43	50	
支 出	1. 建 設 改 良 費	112	29	37	115	26	15	15	15
	2. 企 業 債 償 還 金	73	72	39	42	61	56	53	67
	3. 他 会 計 長 期 借 入 金 返 還 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	0	2	1	1	2	0	0	0
支 出 計 (B)	185	103	77	158	89	71	68	82	
差 引 不 足 額 (B)-(A) (C)	36	37	20	21	34	26	25	32	
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金	27	34	18	13	33	25	18	31
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰 越 工 事 資 金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. そ の 他	9	3	2	8	1	1	7	1
計 (D)	36	37	20	21	34	26	25	32	
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

## 3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収 益 的 収 支	222	207	199	205	184	183	183	183
資 本 的 収 支	38	38	22	22	32	30	28	35
合 計	260	245	221	227	216	213	211	218



施設名	吉岐病院
-----	------

1. 収支計画（収益的収支）

税抜き

（単位：百万円、％）

年度		年度								
		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
収 入	1. 医業収益 a	2,735	2,904	3,010	2,833	3,222	3,024	3,081	3,141	
	(1) 入院収益	1,791	1,897	1,946	1,850	2,055	1,916	1,959	2,004	
	(2) 外来収益	729	802	845	778	877	861	875	886	
	(3) その他	215	205	219	205	290	247	247	251	
	うち他会計負担金 a'	43	43	43	43	72	72	72	72	
	2. 医業外収益	460	460	446	891	522	503	489	482	
	(1) 他会計負担金・補助金	418	415	402	470	401	385	385	384	
	(2) 国（県）補助金	4	4	4	293	0	0	0	0	
	(3) 長期前受金戻入	24	23	21	112	83	55	49	47	
	(4) その他	14	18	19	16	38	63	55	51	
	経常収益 (A)	3,195	3,364	3,456	3,724	3,744	3,527	3,570	3,623	
	支 出	1. 医業費用 b	3,110	3,233	3,366	3,471	3,558	3,413	3,434	3,457
		(1) 職員給与費 c	1,837	1,910	1,964	1,984	2,127	2,092	2,097	2,133
		うち退職給付費 c'	35	41	18	26	43	47	27	37
(2) 材料費		555	557	610	664	700	622	634	646	
(3) 経費		437	473	472	520	529	490	510	497	
(4) 減価償却費 d		266	270	305	290	182	191	174	162	
(5) その他		15	23	15	13	20	18	19	19	
2. 医業外費用		144	177	154	181	168	141	137	133	
(1) 支払利息		55	52	51	48	46	46	42	39	
(2) その他		89	125	103	133	122	95	95	94	
経常費用 (B)		3,254	3,410	3,520	3,652	3,726	3,554	3,571	3,590	
経常損益 (A)-(B) (C)		▲ 59	▲ 46	▲ 64	72	18	▲ 27	▲ 1	33	
特別 損益		1. 特別利益 (D)	2	8	3	503	30	23	24	16
		2. 特別損失 (E)	79	89	16	81	15	10	10	6
	特別損益 (D)-(E) (F)	▲ 77	▲ 81	▲ 13	422	15	13	14	10	
純損益 (C)+(F)	▲ 136	▲ 127	▲ 77	494	33	▲ 14	13	43		
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	98.2	98.7	98.2	102.0	100.5	99.2	100.0	100.9		
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	87.9	89.8	89.4	81.6	90.6	88.6	89.7	90.9		
修正医業収支比率 $\frac{a-a'}{b-(c+d)} \times 100$	95.8	97.9	97.5	88.4	94.5	93.0	93.1	94.2		
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	67.2	65.8	65.2	70.0	66.0	69.2	68.1	67.9		
病床利用率	88.4	91.1	90.4	85.7	91.1	91.1	91.7	92.3		

施設名	吉岐病院
-----	------

2. 収支計画(資本的収支)

税込

(単位:百万円、%)

年度		H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収 入	1. 企業債	64	515	47	2	50	50	50	50
	2. 他会計出資金	140	125	146	0	0	0	0	0
	3. 他会計負担金	9	6	5	155	147	139	161	164
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	138	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	0	0	0	0	0	0	0	0
	7. その他	0	1	8	0	3	0	0	0
	収入計 (a)	213	647	206	295	200	189	211	214
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0	0	0
純計(a)-{(b)+(c)} (A)	213	647	206	295	200	189	211	214	
支 出	1. 建設改良費	90	546	51	141	56	55	55	55
	2. 企業債償還金	237	243	281	283	250	302	306	279
	3. 他会計長期借入金返還金	0	1	7	0	0	0	0	0
	4. その他	12	10	8	13	13	12	12	12
	支出計 (B)	339	800	347	437	319	369	373	346
差引不足額 (B)-(A) (C)	126	153	141	142	119	180	162	132	
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	118	112	137	142	119	180	162	132
	2. 利益剰余金処分額	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. その他	8	41	4	0	0	0	0	0
	計 (D)	126	153	141	142	119	180	162	132
補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0	0	0	
当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0	0	0	
実質財源不足額 (E)-(F)	0	0	0	0	0	0	0	0	

3. 一般会計等からの繰入金の見通し

(単位:百万円)

	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R1年度 (実績)	R2年度 (見込み)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
収益的収支	461	458	445	466	454	457	457	455
資本的収支	101	132	151	149	165	165	165	165
合計	562	590	596	615	619	622	622	620

長崎県病院企業団病院の概要(令和2年6月1日現在)

施設名	精神医療センター	島原病院	五島中央病院	奈留医療センター	
所在地	大村市西部町1575-2	島原市下川尻町7895	五島市吉久木町205	五島市奈留町浦1644	
電話番号	0957(53)3103	0957(63)1145	0959(72)3181	0959(64)2014	
FAX番号	0957(52)2401	0957(63)4864	0959(72)2881	0959(64)3447	
離島医療圏組合加入	—	—	昭和43年4月1日	昭和43年4月1日	
企業団加入	平成21年4月1日	平成21年4月1日	平成21年4月1日	平成21年4月1日	
建設	建築	昭和60年7月	平成14年1月	昭和52年12月	
	増改築	改築平成20年4月 増築平成25年3月	増築平成23年4月 増築平成25年3月	増改築昭和57年3月 増改築平成4年3月 改修平成27年6月	
診療科目	精神科 内科 歯科	内科 呼吸器内科 消化器内科 循環器内科 血液内科(H24.1～) 小児科 外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 眼科 耳鼻いんこう科 リハビリテーション科 放射線科 病理診断科(H26.8～) 麻酔科	内科 精神科 脳神経内科(R1.10.1) 消化器内科(H24.4～) 循環器内科 小児科 外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 リハビリテーション科 放射線科	内科 精神科 小児科 外科 整形外科 皮膚科 泌尿器科 眼科 リハビリテーション科	
	合計	3科	17科	16科	9科
病床数(床)	一般		250	230	19
	療養(医療型)				
	精神	139		60	
	結核		4	10	
	感染症		4	4	
合計	139	254	304	19	
看護配置	救急病棟 10:1 医療観察法病棟 1:1.3+4 思春期病棟 10:1 その他 15:1	一般 7:1(H21.4～) 地域包括ケア 13:1(H26.10～)	一般・結核 10:1 精神 15:1 地域包括ケア 13:1(H29.9～)	有床診療所1(H26.1～)	
救急告示	—	S58.7.1	S54.9.28	S54.2.16	
併設施設等					
人工透析(床)	0	0	15	3	
院外処方	○	○	○	○(H26.4～)	
給食委託	○(H23.4～)	○(H22.4～)	△	○(H30.8～)	
備考	長崎県精神科救急医療システム基幹病院 精神科救急医療センター 精神科救急情報センター 医療観察法指定入院・通院医療機関 児童・思春期精神科専門病棟・専門外来 精神科専門医制度研修施設 協力型臨床研修病院 応急入院指定病院 電子カルテ(医療観察法病棟) ECTセンター	二次救急輪番制病院 災害拠点病院 長崎DMAT指定病院 地域医療支援病院 地域がん診療連携拠点病院 地域脳卒中センター 第二種感染症指定医療機関 基幹型臨床研修病院 病院機能評価認定 リニアック MRI 電子カルテ(H22.6～)	二次救急輪番制病院 災害拠点病院 長崎DMAT指定病院 へき地医療拠点病院 がん診療離島中核病院 第二種感染症指定医療機関 基幹型臨床研修病院 病院機能評価認定 応急入院指定病院 認知症疾患医療センター MRI 遠隔画像診断システム 電子カルテ(H26.3～)	五島中央病院附属診療所(H26.1～) 臨床研修協力施設 遠隔画像診断システム	

長崎県病院企業団病院の概要(令和2年6月1日現在)

施設名	富江病院	上五島病院	有川医療センター	奈良尾医療センター	
所在地	五島市富江町 狩立499	南松浦郡新上五島町 青方郷1549-11	南松浦郡新上五島町 有川郷2255	南松浦郡新上五島町 奈良尾郷字新港1000	
電話番号	0959(86)2131	0959(52)3000	0959(42)0320	0959(44)1010	
FAX番号	0959(86)0400	0959(52)2981	0959(42)0754	0959(44)1717	
離島医療圏組合加入	昭和43年4月1日	昭和43年4月1日	昭和55年6月1日	昭和43年4月1日	
企業団加入	平成21年4月1日	平成21年4月1日	平成21年4月1日	平成21年4月1日	
建設	建築	平成4年1月	昭和61年6月	昭和55年9月	
	増改築	改修 平成19年2月	増築 平成3年2月 増築 平成8年2月 増築 平成12年7月 増改築 平成16年9月 増改築 平成28年7月 改修 平成29年9月 改修 平成30年4月	増改築 平成5年2月 移転新築 平成24年3月	
診療科目	内科 小児科 外科 整形外科 眼科 リハビリテーション科	内科 精神科 脳神経内科 呼吸器内科 消化器内科(H24.4~) 循環器内科(H26.4~) 腎臓内科 小児科 外科 整形外科 脳神経外科(H30.4~) 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 リハビリテーション科 放射線科	内科 小児科 外科 整形外科 リハビリテーション科(H23.4~)	内科 小児科 外科 整形外科 眼科 リハビリテーション科	
	合計	6科	18科	5科	6科
病床数(床)	一般	55	132	0	0
	療養(医療型)		50		
	精神				
	結核				
	感染症		4		
合計	55	186	0	0	
看護配置	一般 13:1 30:1補助(H30.1~) 地域包括ケア 13:1(H30.10~)	一般 10:1(H22.1~) 地域包括ケア 13:1(H28.12~)	—	—	
救急告示	S55.3.7	S58.4.1	—	—	
併設施設等		訪問看護ST			
人工透析(床)	4	10	20	0	
院外処方	○	○	○	○(H24.4~)	
給食委託	x	x			
備考	臨床研修協力施設 遠隔画像診断システム 電子カルテ(H29.3~)	災害拠点病院 長崎DMAT指定病院 へき地医療拠点病院 がん診療離島中核病院 第二種感染症指定医療機関 基幹型臨床研修病院 専門研修施設(基幹型) 認知症疾患医療センター MRI 遠隔画像診断システム 遠隔病理診断システム 電子カルテ 病院機能評価認定(R1.7~) 二次救急輪番制病院(R2.1~)	上五島病院附属診療所 (H21.11~) 電子カルテ(H21.11~)	上五島病院附属診療所 (H23.4~) 電子カルテ(H23.4~)	

長崎県病院企業団病院の概要(令和2年6月1日現在)

施設名	対馬病院	上対馬病院	舌岐病院	計	
所在地	対馬市美津島町 雞知乙1168-7	対馬市上対馬町 比田勝630	舌岐市郷ノ浦町 東触1626		
電話番号	0920(54)7111	0920(86)4321	0920(47)1131		
FAX番号	0920(54)7110	0920(86)4324	0920(47)5607		
離島医療圏組合加入	旧2病院の再編統合により 平成27年5月17日開院	昭和43年4月1日	-		
企業団加入		平成21年4月1日	平成27年4月1日		
建設	建築	平成27年2月	平成17年3月		
	増改築		増築平成8年3月 増築平成17年3月	改築平成25年3月 増築平成28年3月	
診療科目	内科 精神科 脳神経内科 消化器内科 循環器内科 血液内科 人工透析内科 リウマチ科 小児科 外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 腫瘍内科 腫瘍外科 緩和ケア放射線科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 リハビリテーション科 放射線科 臨床検査科 麻酔科 救急科	内科 精神科 脳神経内科 小児科 外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 リハビリテーション科 放射線科	内科 精神科 消化器内科 循環器内科 呼吸器内科 小児科 外科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科 産婦人科 眼科 耳鼻いんこう科 リハビリテーション科 放射線科 麻酔科		
	合計	25科	14科	17科	136科
病床数(床)	一般	222	60	120	1,088
	療養(医療型)			48	98
	精神	45		50	294
	結核	4		6	20
	感染症	4		4	20
	合計	275	60	228	1,520
看護配置	一般 精神 10:1 15:1 地域包括ケア 13:1(H28.4~)	一般 10:1	一般 10:1 地域包括ケア 13:1(H26.12~)		
救急告示	H27.5.17	S55.2.15	S42.9.16		
併設施設等	通所リハビリテーション	訪問看護ST 通所リハビリテーション			
人工透析(床)	40	14	8	114	
院外処方 給食委託	○ ×	○ ×	○ ×		
備考	二次救急輪番制病院 災害拠点病院 長崎DMAT指定病院 へき地医療拠点病院 がん診療離島中核病院 第二種感染症指定医療機関 基幹型臨床研修病院 応急入院指定病院 認知症患者医療センター 医療観察法指定通院 医療機関 リニアック MRI 遠隔画像診断システム 電子カルテ(H27.5~)	二次救急輪番制病院 へき地医療拠点病院 臨床研修協力施設 遠隔画像診断システム 電子カルテ(H26.2~)	二次救急輪番制病院 災害拠点病院 長崎DMAT指定病院 がん診療離島中核病院 第二種感染症指定医療機関 協力型臨床研修病院 認知症患者医療センター MRI 遠隔画像診断システム 電子カルテ(H27.10~)		